

ドイツ語と社会Ⅱ(単位回復)(Z1)

12837

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、ドイツ語の社会や文化を紹介する授業です。

授業時間の内わけは、
 授業の前半――教科書を使っての授業時間その1。
 社会の時間――ドイツZDFのニュース、ドイツ観光案内、ドイツの歌謡曲の紹介。
 授業の後半――教科書を使っての授業時間その2。
 文化の時間――オペラ(ワグナーの作品)を見てもらいます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる本を選びました。
- 2、ドイツの歌を、一つ覚える。
小テストの一つは、歌を暗唱するというものです。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で20章です。初めの易しい頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1 1章、こんにちは(あいさつ)。2章、田中といいます(疑問文・否定文)	
2	2 3章、こちらはバオアーさんです(人称代名詞)。4章、市庁舎はどこですか?(名詞の性)	
3	3 5章、私には弟と妹がいます(duとSie)。6章、私はサイクリングが好きです(名詞の複数形)	
4	4 7章、チーズケーキと紅茶を下さい(数字)。8章、ベルリン行きの切符を1枚下さい(分離動詞)	
5	5 9章、6時半頃、寄ってもらえる?(話法の助動詞)。10章、お子さんたちはおいくつですか?(所有冠詞)	
6	6 11章、妻に民族衣装の上着を探しているのですが(冠詞類の変化)。12章、今日は妹の誕生日です(2格)	
7	7 13章、弟を訪ねました(現在完了形)	
8	8 14章、中国に行ったことはありますか?(過去形)	
9	9 15章、アドバイスをしてもらえます?(再帰動詞)	
10	10 16章、いらしてください嬉しいです(副文)	
11	11 17章、部屋を予約したいのですが(形容詞の格語尾)	
12	12 18章、休暇先からの絵葉書(zu不定詞句)	
13	13 19章、まず肉とじゃがいもを切って炒めます(受動態)	
14	14 20章、今後も連絡を取り合いましょう(接続法)	
15	15 検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならないものについて、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

 このクラスの成績評価は、C・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ニューエクスプレス ドイツ語』	太田達也 / 白水社 / 978-4-560-06651-5 / 自分でドイツ語がもののできる本です

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
 図書館の視聴覚ルームにもたくさんのドイツのビデオがありますから、
 ぜひ見てみて下さい。

拡張項目

英語読解演習2(単位回復)(Z4)

18147

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オンライン教材 50% 中間テスト 25% 期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。授業内で同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・総合Ⅱ (3B)

12291

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「L'Arc-en-ciel」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
	2 フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
	3 フランス語で過去の経験を語る	複合過去
	4 数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
	5 「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
	6 「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
	7 主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
	8 「私は彼に叱られる」	受動態
	9 「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
	10 フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
	11 文と文をつなぐために	関係代名詞
	12 二つのものを比較してみよう	比較級
	13 いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
	14 たった今おわったことを語るには?	近接過去
	15 後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・総合Ⅱ (3A)

10084

担当者名 / Instructor 井上 由里子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「L'Arc-en-ciel」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
	2 フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
	3 フランス語で過去の経験を語る	複合過去
	4 数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
	5 「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
	6 「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
	7 主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
	8 「私は彼に叱られる」	受動態
	9 「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
	10 フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
	11 文と文をつなぐために	関係代名詞
	12 二つのものを比較してみよう	比較級
	13 いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
	14 たった今おわたたことを語るには?	近接過去
	15 後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 井上 由里子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・総合 I (3A)

10011

担当者名 / Instructor 井上 由里子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語の初歩的な文章が理解できる。
- 2) 初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる？	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは？	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう！	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの？彼のもの？	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう！	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある！	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love？	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる！	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。

それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	江島泰子 / 第三書房 / 9784808620660 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・総合Ⅱ (3C)

10222

担当者名 / Instructor 井上 由里子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「L'Arc-en-ciel」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 基本的なフランス語の文章が理解できる。
- 2) 基本的な文法事項を説明できる。
- 3) 簡単なフランス語を聞き取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
	2 フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
	3 フランス語で過去の経験を語る	複合過去
	4 数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
	5 「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
	6 「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
	7 主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
	8 「私は彼に叱られる」	受動態
	9 「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
	10 フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
	11 文と文をつなぐために	関係代名詞
	12 二つのものを比較してみよう	比較級
	13 いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
	14 たった今おわたたことを語るには?	近接過去
	15 後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
上記以外の試験・レポート、平常点評価	40 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L' Arc-en-ciel	／第三書房／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・表現Ⅱ (2B)

10230

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるように授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・表現Ⅱ (3D)

10219

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるように授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・表現Ⅱ (3C)

12278

担当者名 / Instructor LETELIER PAULA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるように授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・表現Ⅱ (3A)

12428

担当者名 / Instructor LETELIER PAULA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるように授業中にしっかりとノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

担当者名 / Instructor LETELIER PAULA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・表現Ⅱ (2A)

10090

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・表現 I (3D)

10137

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめとその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・表現 I (3B)

12351

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・表現 I (2A)

10015

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・表現Ⅱ (3B)

12427

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ、受講生にコミュニケーションの現場で使えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar español en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講座を終了して時点で、受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ、買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el español necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior.	
2	普通の日 Un día normal, acciones habituales, las horas	
3	天気 hablar del tiempo	
4	自由時間 El tiempo libre	
5	人の好みと趣味について Preferencias.	
6	スペイン語で買い物I De compras en español I.	
7	スペイン語で買い物II De compras en español II.	
8	最近の出来事について話す、過去について話す Hablar del pasado y acciones recientes	
9	最近の出来事と経験 Experiencias. 過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話すI Acciones en curso I.	
11	進行中の行為について話す II Acciones en curso II.	
12	レストランで En el restaurante, comidas, situaciones.	
13	旅行 De viaje, situaciones	
14	まとめとその他のテーマI Preparacion para el examen A1	
15	まとめとその他のテーマIIと検証試験 Repaso II y examen A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後に復習できるように授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Hablemos A1	Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・表現 I (3A)

12347

担当者名 / Instructor LETELIER PAULA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar español en situaciones de comunicación realistas.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

この講義が終了した時点で、受講生は自分自身について、周りの状況などについて(自己紹介、家族や出身地について説明するなど)スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en español operaciones comunicativas básicas relacionadas con sí mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introducción a la clase y a la comunicación en español.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto	
3	自己紹介 Saludos y presentarse, dar información básica	
4	パーソナルインフォメーション Información personal	
5	職業について Ocupaciones.	
6	私の物 Mis cosas, descripciones básicas.	
7	いろいろな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
8	家族について La familia.	
9	自分自身について? ¿Como eres?, descripciones personales	
10	元気ですか? ¿Como estás?	
11	調子は同ですか? Expresar deseos, estado anímico, obligación.	
12	私の生活 未来について話す acciones habituales, Hablar del futuro	
13	街で Por la ciudad, Situación espacial.	
14	まとめその他のテーマ1 Repaso 1, presentación de DELE A1	
15	まとめその他のテーマ2と検証試験 Repaso 2 y examen tipo DELE A1	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説

平常点評価

明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Hablemos A1

Abel Álvarez Pereira / Paper boat books / 978-4-9906904-0-3 / C1087

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・展開 (2A)

10269

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。

また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。

フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張ってください。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 日常的なフランス語の語彙を理解できる。
- 2) 発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
- 3) 基本的なフランス語の文章を理解できる。
- 4) 日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞 (qui/que/dont/ou)
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir(～出来る)を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去

19 フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20 ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21 強調したいことがあれば・・・	強調構文
22 フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23 フランス語は論理的な言語？	接続詞
24 ふたつの文をひとつにする(2)	関係代名詞 (lequel)
25 歴史的な出来事を理解する	単純過去
26 フランス語と時間の表現	時制の一致
27 フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28 簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29 ちょっと本格的なフランス語を読みますか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30 文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	(60%) 授業でテストを実施します。 初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
		(40%) 出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。 授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ピエールとユゴー	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デイク	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初學者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク(<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

フランス語・基礎 (2A)

10185

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業(同一教員が担当)で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。

今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。

また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。

なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語を正確に発音できる。
- 2) フランス語文法の基礎が理解できる。
- 3) フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
- 4) 簡単なフランス語を聞いて理解できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェーマン
	2 国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
	3 フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
	4 彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
	5 フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
	6 小休止: フランス語の数字	数詞(1-100)
	7 英語のThis is a penを、フランス語で言うと？	指示代名詞
	8 フランス語で質問しよう	疑問文
	9 これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
	10 フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
	11 これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
	12 フランス語で未来を語ろう	近接未来
	13 フランス語で過去を語ろう	近接過去
	14 国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
	15 フランス語特有の語順(その1)	中性代名詞 y
	16 たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
	17 フランス語特有の語順(その2)	中性代名詞 en
	18 天候をフランス語で語ろう	非人称構文(その1)、動詞 faire

19 時間をフランス語で表現しよう	非人称表現(その2)、時刻
20 あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21 人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22 ふたつのものを比較しよう	比較級
23 このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24 「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25 フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その1)
26 続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去(その2)
27 誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28 簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング
29 前期のまとめ(その1)	日常の語彙、動詞の活用
30 前期のまとめ(その2)	基本構文の把握、時制

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	(60%) 授業でテストを実施します。 初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
		(40%) 出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。 授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ピエールとユゴー	小笠原洋子 / 白水社 / 978-4-560-06100-8 /

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デイク	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものをご購入してください。なお初學者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス (<http://www.diplo.jp>)

フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3A)

12208

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (2A)

10006

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3J)

10150

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・応用Ⅱ (2A)

11424

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通じてセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第7課 プリペイドカードの購入 語彙と文法ポイント。	
3	第7課 プリペイドカードの購入 本文と練習問題。	
4	第8課 食事 語彙と文法ポイント。	
5	第8課 食事 本文と練習問題。	
6	第9課 カラオケに行く 語彙と文法ポイント。	
7	第9課 カラオケに行く 本文と練習問題。	
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第10課 タクシーの中 語彙と文法ポイント。	
10	第10課 タクシーの中 本文と練習問題。	
11	第11課 ショッピングセンターにて 語彙と文法ポイント。	
12	第11課 ショッピングセンターにて 本文と練習問題。	
13	第12課 誕生日を祝う 語彙と文法ポイント。	
14	第12課 誕生日を祝う 本文と練習問題。	
15	後期の復習や確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3D)

12211

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3E)

10017

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3J)

12448

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3C)

10010

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3B)

10009

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・応用Ⅱ (2C)

11624

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通じてセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第7課 プリペイドカードの購入	語彙と文法ポイント。
3	第7課 プリペイドカードの購入	本文と練習問題。
4	第8課 食事	語彙と文法ポイント。
5	第8課 食事	本文と練習問題。
6	第9課 カラオケに行く	語彙と文法ポイント。
7	第9課 カラオケに行く	本文と練習問題。
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第10課 タクシーの中	語彙と文法ポイント。
10	第10課 タクシーの中	本文と練習問題。
11	第11課 ショッピングセンターにて	語彙と文法ポイント。
12	第11課 ショッピングセンターにて	本文と練習問題。
13	第12課 誕生日を祝う	語彙と文法ポイント。
14	第12課 誕生日を祝う	本文と練習問題。
15	後期の復習や確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通じてセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第7課 プリペイドカードの購入 語彙と文法ポイント。	
3	第7課 プリペイドカードの購入 本文と練習問題。	
4	第8課 食事 語彙と文法ポイント。	
5	第8課 食事 本文と練習問題。	
6	第9課 カラオケに行く 語彙と文法ポイント。	
7	第9課 カラオケに行く 本文と練習問題。	
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第10課 タクシーの中 語彙と文法ポイント。	
10	第10課 タクシーの中 本文と練習問題。	
11	第11課 ショッピングセンターにて 語彙と文法ポイント。	
12	第11課 ショッピングセンターにて 本文と練習問題。	
13	第12課 誕生日を祝う 語彙と文法ポイント。	
14	第12課 誕生日を祝う 本文と練習問題。	
15	後期の復習や確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3H)

10146

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3A)

12282

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3I)

12447

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3H)

12436

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3G)

12433

担当者名 / Instructor 王 大川

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディプログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3F)

12432

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3E)

12292

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3D)

12285

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3B)

12209

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3B)

12283

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3C)

12210

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3J)

12369

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3I)

12368

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3H)

12357

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3G)

12350

担当者名 / Instructor 王 大川

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3F)

12352

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (3E)

12220

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。
簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (3C)

12284

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。
基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。
日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する。	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終確認テスト60%、出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み40%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合 I (3D)

10016

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

英語特別講義(単位回復)(Z4)

12166

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study English by listening and reading the latest news from CNN Student News, and then review basic English grammar and vocabulary on the following topics shown in the course Schedule.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- To get used to listening and reading the news.
- To think over some problems on the globe.
- To review some important English grammar.
- To get some useful information on listening and reading skills.
- To get richer vocabulary.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Orientation, American Buddhists	How to read English News
2	Coral Reefs	How to listen English News
3	Drummers	5W1H
4	Food Stylist	the part of speech
5	Musical Instruments	five sentence patterns
6	Faberge	Headline, Lead, Body
7	Bees	irregular verbs
8	Musician Michelle Branch	prefix and suffix
9	Ocean Plastic	how to read numbers
10	Pinball	Perfect
11	Quiz Show	voice
12	Rainforest	Progress
13	PRS Guitars	family words
14	Review Units 1-13 (30 minutes) Final Test (60 minutes)	vocabulary
15	Video Gamers	tense

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	60%: Attendance, Hard working to fill in the Class File, including "Short Writing on the Topic" in class, Contribution to class activities. 40%: Paper Test on the 14th (the second last) lecture.
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study English hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
English Mosaic	John S. Lander / 朝日出版社 / 978-4-255-15526-5 /

Unit 14 and other working sheets beside the textbook are optional tasks for some extra points.

参考書 / Reference Books

Available good web-sites for studying English are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

Textbook: <http://text.ashipress.com/free/english>

Others: TBA. Available good web-sites for studying English are to be shown in class.

後で授業中に紹介します。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

mail to: nst03700@pl.ritsumei.ac.jp

その他 / Other

英語特別講義は、例えばZ1&Z4のように、複数履修が可能である。

拡張項目

フランス語中級表現読解Ⅴ (K)

13588

担当者名 / Instructor 柿並 良佑

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前期の「フランス語中級表現読解Ⅳ」に引き続き、日常で実際に使われている「ホンモノ」のフランス語を題材にしながら、言語の構造を理解し読解力を身につけていきます。今期はフランスの地方や文学・音楽などにスポット当てるほか、モードや流行なども扱いながらフランスの最新事情を紹介します。さらに、フランスにおいて日本がどのように紹介されているのかを学び、異なる視点から我が国の社会・文化を見つめ直します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語で書かれた簡単な文章が自力で読めるようになる。
- 2) 日常生活に必要なフランス語の聞き取り、会話ができるようになる。
- 3) 簡単な内容の文をフランス語で書けるようになる。
- 4) フランス語的な表現に慣れる。
- 5) フランス語を使って、様々な情報を自分で検索できるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。ただし初級フランス語を終えていることが条件です。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回 テーマ/Theme	フランスのいろんな街に行こう	キーワード/Key Word 前期の内容の復習・後期のガイダンス・地方都市・情報検索の仕方
第2回 テーマ/Theme	TGVで旅行しよう	キーワード/Key Word 鉄道・時刻表・切符の買い方・聞き取り・会話
第3回 テーマ/Theme	南仏に行こう	キーワード/Key Word 地方文化・観光スポット・読解・聞き取り
第4回 テーマ/Theme	アルザスに行こう	キーワード/Key Word 地方文化・観光スポット・読解・聞き取り
第5回 テーマ/Theme	ロマンを読もう	キーワード/Key Word 文学・小説・文章読解
第6回 テーマ/Theme	ポエムを解説しよう	キーワード/Key Word 文学・近現代詩・文章読解・分析
第7回 テーマ/Theme	少しエスプリの効いた議論をのぞいてみよう	キーワード/Key Word 文化・哲学・社会・聞き取り
第8回 テーマ/Theme	おしゃれになろう	キーワード/Key Word モード・服飾・ファッション誌
第9回 テーマ/Theme	フランスの「今」を知ろう	キーワード/Key Word 流行・メディア・サブカルチャー・ポップカルチャー
第10回 テーマ/Theme	フランス料理を作ろう	キーワード/Key Word フランス料理・レシピ・ワイン・デザート
第11回 テーマ/Theme	政治的議論に参加しよう	キーワード/Key Word 時事・新聞・読解
第12回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう①	キーワード/Key Word 食文化・日本料理・流行
第13回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう②	キーワード/Key Word 日本映画・マンガ
第14回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう③	キーワード/Key Word 社会・日仏比較、日本人のイメージ・フランス人のイメージ
第15回 テーマ/Theme	試験と総復習	キーワード/Key Word 総復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

事前に予習が指示された場合は丁寧に文章を読み、理解できる箇所とできない箇所を明確にした上で授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況(3分の2以上出席しなければ成績の対象となりません)、授業に対する姿勢、課題の提出状況、試験を総合的に評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業には積極的に参加し、発言を求めた場合ははっきりと受け答えして下さい。また、授業内外での様々な質問も歓迎します。

教科書 / Textbooks

教科書はありません。教材については毎回プリントを用意しますので、文章を読解する授業に関しては、必ず十分に予習してから参加して下さい。授業中には、辞典の有効的な使い方など、フランス語の学習方法も説明します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典
ロワイヤル仏和中辞典	／旺文社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
フランス語ハンドブック	／白水社／／文法書

フランス語を継続して学習したい方には個人的にアドバイスいたします。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

やさしいフランス語で聴くことのできるラジオ・ニュース。 http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil_apprendre.asp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

フランス語上級表現読解 I (K)

11768

担当者名 / Instructor 柿並 良佑

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、フランスの社会や日常生活において実際に使われている「ホンモノ」の言葉を題材にしながら、フランスの実情に迫ります。具体的にはパリの歴史・社会・交通をはじめ、美術・映画・演劇・グルメなどの多様な文化を扱った新聞・雑誌・ガイドブック・パンフレットなどを読みながら、言語の構造を理解し読解力を身につけていきます。また、フランス人なら誰もが知っている音楽や日常生活でよく使う会話表現などを通して、聞き取りやコミュニケーション能力の向上を図ります。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語で書かれた文章が自力で読めるようになる。
- 2) 日常生活に必要なフランス語の聞き取り、会話ができるようになる。
- 3) 様々な内容の文をフランス語で書けるようになる。
- 4) フランス語的な表現に慣れる。
- 5) フランス語を使って、様々な情報を自分で検索できるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランス語中級表現読解を履修していること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	テーマ/Theme フランスをもっとよく知ろう	キーワード/Key Word 授業ガイダンス・学習方法・フランス・現代社会・概説
第2回	テーマ/Theme ニュースで知る現代社会	キーワード/Key Word パリ・政治・社会・聞き取り・会話
第3回	テーマ/Theme フランスの性差とは	キーワード/Key Word 政治・社会・文化・聞き取り・会話
第4回	テーマ/Theme フランスの家族と仕事	キーワード/Key Word 文化・社会・経済・文章読解
第5回	テーマ/Theme フランスの礼儀・マナー	キーワード/Key Word 文化・社会・聞き取り・会話
第6回	テーマ/Theme フランスに住むとしたら	キーワード/Key Word 現代社会・住宅情報誌・文章読解
第7回	テーマ/Theme メールを送ろう	キーワード/Key Word 情報・メール・フランス語読解・作文
第8回	テーマ/Theme 宗教ってなんだ？	キーワード/Key Word 文化・社会・習俗・文章読解
第9回	テーマ/Theme 新聞を読もう①	キーワード/Key Word フランス・情報・メディア・社会・文章読解
第10回	テーマ/Theme 新聞を読もう②	キーワード/Key Word フランス・政治・経済・文章読解
第11回	テーマ/Theme フランスの歌を聴こう	キーワード/Key Word 音楽・シャンソン・歌謡曲・聞き取り
第12回	テーマ/Theme エスプリの効いた議論をしてみよう	キーワード/Key Word 文化・哲学・社会・聞き取り
第13回	テーマ/Theme 美術館に行こう	キーワード/Key Word 美術・絵画・文章読解
第14回	テーマ/Theme 収穫祭に行こう	キーワード/Key Word 観光名所・歴史・文章読解
第15回	テーマ/Theme 試験と総復習	キーワード/Key Word 総復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

事前に予習が指示された場合は丁寧に文章を読み、理解できる箇所とできない箇所を明確にした上で授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席点(2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とします)、授業への積極性、宿題、小テストなどで評価します。最終講義日に検証テストを行います。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業には積極的に参加し、発言を求めた場合ははっきりと受け答えして下さい。また、授業内外での様々な質問も歓迎します。

教科書 / Textbooks

教科書はありません。教材については毎回プリントを用意します。扱い方についてはその都度指示しますが、特に文章を読解する授業に関しては、必ず十分に予習したうえで参加して下さい。授業中には、辞典の有効的な使い方など、フランス語の学習方法も説明します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典
ロワイヤル仏和中辞典	／旺文社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
フランス語ハンドブック	／白水社／／文法書

フランス語を継続して学習したい方には参考書に関して個人的にアドバイスいたします。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

やさしいフランス語で聴くことのできるラジオ・ニュース。 http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil_apprendre.asp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

フランス語中級表現読解Ⅱ (K)

12096

担当者名 / Instructor 柿並 良佑

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では日常で実際に使われている「ホンモノ」のフランス語を題材にしなが、言語の構造を理解し読解力を身につけていきます。パリや地方や文学・音楽などにスポット当てるほか、モードや流行なども扱いつつフランスの最新事情を紹介します。さらに、フランスにおいて日本がどのように紹介されているのかを学び、異なる視点から我が国の社会・文化を見つめ直します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語で書かれた簡単な文章が自力で読めるようになる。
- 2) 日常生活に必要なフランス語の聞き取り、会話ができるようになる。
- 3) 簡単な内容の文をフランス語で書けるようになる。
- 4) フランス語的な表現に慣れる。
- 5) フランス語を使って、様々な情報を自分で検索できるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。ただし初級フランス語を終えていることが条件です。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回 テーマ/Theme	フランスのいろいろな街に行こう	キーワード/Key Word ガイダンス・パリと地方都市・情報検索の仕方
第2回 テーマ/Theme	パリで移動しよう	キーワード/Key Word 鉄道・時刻表・切符の買い方・聞き取り・会話
第3回 テーマ/Theme	TGVで旅行しよう	キーワード/Key Word 鉄道・時刻表・切符の買い方・聞き取り・会話
第4回 テーマ/Theme	南仏に行こう	キーワード/Key Word 地方文化・観光スポット・読解・聞き取り
第5回 テーマ/Theme	アルザスに行こう	キーワード/Key Word 地方文化・観光スポット・読解・聞き取り
第6回 テーマ/Theme	ロマンを読もう	キーワード/Key Word 文学・小説・文章読解
第7回 テーマ/Theme	ポエムを解読しよう	キーワード/Key Word 文学・近現代詩・文章読解・分析
第8回 テーマ/Theme	おしゃれになろう	キーワード/Key Word モード・服飾・ファッション誌
第9回 テーマ/Theme	フランスの「今」を知ろう	キーワード/Key Word 流行・メディア・サブカルチャー・ポップカルチャー
第10回 テーマ/Theme	フランス料理を作ろう	キーワード/Key Word フランス料理・レシピ・ワイン・デザート
第11回 テーマ/Theme	エスプリの効いた議論をしてみよう	キーワード/Key Word 哲学・時事・新聞・読解
第12回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう①	キーワード/Key Word 食文化・日本料理・流行
第13回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう②	キーワード/Key Word 日本映画・マンガ
第14回 テーマ/Theme	フランスで日本を探そう③	キーワード/Key Word 社会・日仏比較、日本人のイメージ・フランス人のイメージ
第15回 テーマ/Theme	試験と総復習	キーワード/Key Word 総復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

事前に予習が指示された場合は丁寧に文章を読み、理解できる箇所とできない箇所を明確にした上で授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況(3分の2以上出席しなければ成績の対象となりません)、授業に対する姿勢、課題の提出状況、試験を総合的に評価します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業には積極的に参加し、発言を求めた場合ははっきりと受け答えして下さい。また、授業内外での様々な質問も歓迎します。

教科書 / Textbooks

教科書はありません。教材については毎回プリントを用意しますので、文章を読解する授業に関しては、必ず十分に予習してから参加して下さい。授業中には、辞典の有効的な使い方など、フランス語の学習方法も説明します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典
ロワイヤル仏和中辞典	／旺文社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
フランス語ハンドブック	／白水社／／文法書

フランス語を継続して学習したい方には個人的にアドバイスいたします。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

やさしいフランス語で聴くことのできるラジオ・ニュース。 http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil_apprendre.asp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 柿並 良佑

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、フランスの社会や日常生活において実際に使われている「ホンモノ」の言葉を題材にしながら、フランスの実情に迫ります。具体的にはパリの歴史・社会・交通をはじめ、美術・映画・演劇・グルメなどの多様な文化を扱った新聞・雑誌・ガイドブック・パンフレットなどを読みながら、言語の構造を理解し読解力を身につけていきます。また、フランス人なら誰もが知っている音楽や日常生活でよく使う会話表現などを通して、聞き取りやコミュニケーション能力の向上を図ります。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) フランス語で書かれた簡単な文章が自力で読めるようになる。
- 2) 日常生活に必要なフランス語の聞き取り、会話ができるようになる。
- 3) 簡単な内容の文をフランス語で書けるようになる。
- 4) フランス語的な表現に慣れる。
- 5) フランス語を使って、様々な情報を自分で検索できるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。ただし、初級フランス語を既に習得していること。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回 テーマ/Theme パリに行こう		キーワード/Key Word 授業ガイダンス・学習方法・パリ・歴史・社会・概説
第2回 テーマ/Theme メトロに乗ろう		キーワード/Key Word パリ・交通・地下鉄・聞き取り・会話
第3回 テーマ/Theme カフェに行こう		キーワード/Key Word カフェ・メニュー・聞き取り・会話
第4回 テーマ/Theme グルメになろう		キーワード/Key Word 美食文化・レストラン・ガイドブック・文章読解
第5回 テーマ/Theme ホテルに泊まろう		キーワード/Key Word ホテル・ガイドブック・会話
第6回 テーマ/Theme シネマに行こう		キーワード/Key Word 映画・映画館・映画情報誌・文章読解
第7回 テーマ/Theme 映画を見よう		キーワード/Key Word 映画・聞き取り
第8回 テーマ/Theme ニュースで情報を仕入れよう		キーワード/Key Word 社会・情報・聴き取り
第9回 テーマ/Theme 新聞を読もう①		キーワード/Key Word フランス・情報・メディア・社会・文章読解
第10回 テーマ/Theme 新聞を読もう②		キーワード/Key Word フランス・政治・経済・文章読解
第11回 テーマ/Theme フランスの歌を聴こう		キーワード/Key Word 音楽・シャンソン・歌謡曲・聞き取り
第12回 テーマ/Theme 日本の映画をフランス語で観よう		キーワード/Key Word 映画・サブカルチャー・聞き取り
第13回 テーマ/Theme 美術館に行こう		キーワード/Key Word 美術・絵画・文章読解
第14回 テーマ/Theme 観光をしよう		キーワード/Key Word 観光名所・歴史・文章読解
第15回 テーマ/Theme 試験と総復習		キーワード/Key Word 総復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

事前に予習が指示された場合は丁寧に文章を読み、理解できる箇所とできない箇所を明確にした上で授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席点(2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とします)、授業への積極性、宿題、小テストなどで評価します。最終講義日に検証テストを行います。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業には積極的に参加し、発言を求めた場合ははっきりと受け答えして下さい。また、授業内外での様々な質問も歓迎します。

教科書 / Textbooks

教科書はありません。教材については毎回プリントを用意します。扱い方についてはその都度指示しますが、特に文章を読解する授業に関しては、必ず十分に予習したうえで参加して下さい。授業中には、辞典の有効的な使い方など、フランス語の学習方法も説明します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典
ロワイヤル仏和中辞典	／旺文社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
フランス語ハンドブック	／白水社／／文法書

フランス語を継続して学習したい方には参考書に関して個人的にアドバイスいたします。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

やさしいフランス語で聴くことのできるラジオ・ニュース。 http://www.rfi.fr/lffr/statiques/accueil_apprendre.asp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

英語特別講義(単位回復)(Z1)

12138

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study listening skills, English grammar, reading strategies, and some useful information about health and environment.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

To get used to listening and reading to some easy American English passages from Voice of America Special English
In addition, to review and regain some English grammar and vocabulary

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	The Older is Better & Happier.	How to study
2	Harmful Animals	How to Listen
3	Sleep Medicine	English Paragraph
4	Bee Colony Collapse	Five Sentence Patterns
5	Reusing Pacemakers	Main Idea
6	Irrigation	Listening a lot
7	No Tobacco Day	Changing sentences
8	Ancient Lessons of Farming	Content Words/ Functional Words
9	Healthy Teeth	Supporting Information
10	Coconuts and Mangoes	Transitions
11	Few Nurses	Summary
12	Pesticides	Shadowing
13	Weeding Out	How to Write
14	Review (30 minutes) The Final Test (60 minutes)	Vocabulary
15	Premature Births	Review

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	40% Paper Test in the 14th(second last) lecture. 60% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, Short Writing on the topic in class.

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

To the Future: Topics in Health & Environment 安浪 誠祐, Richard S. Lavin / 松柏社 / 9784881986769 / CD2枚付き
from VOA

We are to skip Lesson 13, Losing Weight by Counting Calories, of the textbook.
This Lesson 13 is to be for an optional task.

参考書 / Reference Books

Available good sites are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

Textbook: <http://www.voanews.com/>

Others: TBA. Available good sites are shown in class.

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

mail to: nst03700@pl.ritsumeai.ac.jp

その他 / Other

拡張項目

英語3 (4B)

10706

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (5A)

11354

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (4B)

11360

担当者名 / Instructor WILLIS ANGELA SUE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2H)

10886

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (4A)

11509

担当者名 / Instructor 佐藤 詩恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3I)

11528

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2I)

10711

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3A)

10874

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3B)

10701

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3D)

10702

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3C)

10875

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3I)

10883

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2A)

11619

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (4A)

10873

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2B)

11436

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3E)

10880

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3H)

11356

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3G)

11515

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3F)

11355

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3F)

10707

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3G)

10881

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (3H)

10708

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (5A)

10700

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2C)

10705

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3F)

11612

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3E)

11428

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3H)

11613

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3I)

11439

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (4A)

11433

担当者名 / Instructor CLAYTON DAVID J M

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3D)

11618

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3C)

11617

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3B)

11435

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (4B)

11629

担当者名 / Instructor 佐藤 詩恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (5A)

11611

担当者名 / Instructor CLAYTON DAVID J M

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3B)

11349

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (1A)

10878

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (1A)

11616

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2B)

10876

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3G)

11430

担当者名 / Instructor LECKIE RICHARD W.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (1A)

11810

担当者名 / Instructor LECKIE RICHARD W.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2D)

10877

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2E)

10709

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2F)

10885

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (3A)

11434

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2I)

11438

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2G)

10710

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2H)

11432

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2G)

11615

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2F)

11431

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2E)

11614

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyō) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2D)

11437

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語6 (2C)

11621

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English II: Print Media

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course will also help develop critical reading and thinking skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course provides students with a knowledge of journalistic English and will also help develop the ability to:

- ・read for gist; read for specific information
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish explicit & implicit information
- ・identify an author's viewpoint
- ・evaluate evidence offered in support of an opinion
- ・draw inferences and conclusions
- ・recognize characteristic features of print media English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部 『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語3 (2A)

10704

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills

This course aims to improve students' English language proficiency with a special emphasis on reading skills development. The course will help students to expand their knowledge of English vocabulary, use context clues to identify the main and supporting ideas of a text, and employ reading strategies such as skimming and scanning for information.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・skim a text for the main idea or gist
- ・scan a text for specific information
- ・judge the relevance of a text to needs
- ・infer the meaning of unknown words from context
- ・distinguish between fact & opinion
- ・distinguish between main ideas & supporting details, examples etc.
- ・distinguish between explicit & implicit information
- ・draw inferences / conclusions
- ・understand graphs / diagrams / tables etc.
- ・understand text organization (recognize discourse markers, transitions etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (4A)

11797

担当者名 / Instructor LANGFORD CRAIG M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (4B)

12020

担当者名 / Instructor LANGFORD CRAIG M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (5A)

12019

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (1A)

11934

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (1B)

12135

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2A)

12132

担当者名 / Instructor CLARK PHILLIP MILLER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2B)

11937

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2C)

12133

担当者名 / Instructor HOGUE WILLIAM ROBERT

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3E)

11935

担当者名 / Instructor MCCOLLUM SEAN THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2E)

12134

担当者名 / Instructor WALLEEN JUSTUS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3I)

12022

担当者名 / Instructor CLAYTON DAVID J M

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2G)

12124

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2H)

11931

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2J)

12126

担当者名 / Instructor WILKINS MICHAEL R.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2K)

12125

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3A)

12130

担当者名 / Instructor FOSTER JOHN PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3B)

11936

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3C)

12128

担当者名 / Instructor GRAY GAVAN PATRICK

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3D)

11350

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (2D)

11938

担当者名 / Instructor WILKINS MICHAEL R.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2K)

11809

担当者名 / Instructor HOGUE WILLIAM ROBERT

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (1B)

12018

担当者名 / Instructor LECKIE RICHARD W.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2A)

11802

担当者名 / Instructor FOSTER JOHN PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2B)

12015

担当者名 / Instructor HAGERMAN CRAIG P.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor HAGERMAN CRAIG P.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2D)

12016

担当者名 / Instructor FOSTER JOHN PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2E)

11804

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2F)

12017

担当者名 / Instructor 佐藤 詩恵

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2G)

11807

担当者名 / Instructor WILLIS ANGELA SUE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2H)

12024

担当者名 / Instructor WILLIS ANGELA SUE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3K)

12023

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (2J)

12025

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語1 (3J)

11806

担当者名 / Instructor WILKINS MICHAEL R.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語1 (3A)

11798

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3B)

12013

担当者名 / Instructor de SOETE FRANCOIS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)

- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)

- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3C)

11799

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語1 (3D)

11800

担当者名 / Instructor RIES BRENDAN JOSEPH

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語1 (3E)

12014

担当者名 / Instructor RIES BRENDAN JOSEPH

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3F)

11801

担当者名 / Instructor MCCOLLUM SEAN THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語 1 (3G)

12021

担当者名 / Instructor MCCOLLUM SEAN THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語1 (3H)

11805

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3F)

12131

担当者名 / Instructor 佐藤 詩恵

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

This course aims to improve students' overall English language proficiency with a focus on speaking and listening skills development. Teachers adopt a content-based or theme-based approach whereby topics connected to global society, intercultural communication and other contemporary themes are presented through a variety of media (including handouts, audio-visual material, PowerPoint presentations etc.). Special emphasis is placed on developing students' ability to express their opinions and participate in discussions in English.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- listen to short lectures or presentations (e.g. listen for gist; obtain factual information; infer meaning from context; take notes etc.)
- participate in small group discussions (e.g. express opinions and support them; express agreement/disagreement; lead a discussion; summarize and report back on a discussion etc.)
- give a short oral presentation (e.g. structure a presentation with a clear introduction and conclusion; illustrating points with examples; using discourse markers to organize information etc.)

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2B)

11512

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3E)

10995

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3D)

12129

担当者名 / Instructor LECKIE RICHARD W.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3G)

10996

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3H)

10794

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3I)

10997

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (4A)

10800

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (4B)

10791

担当者名 / Instructor WILLIS ANGELA SUE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (5A)

11003

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3E)

11514

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2A)

11352

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3D)

10802

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2C)

11353

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2D)

11513

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2E)

11357

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2F)

11520

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2G)

11358

担当者名 / Instructor ウォレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2H)

11521

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、嚴重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、嚴重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (2I)

11359

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3A)

11510

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用 / 剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (3C)

11511

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語5 (1A)

11522

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Media English I: Broadcast Media

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

While providing students with a knowledge of journalistic English, the course will also help develop the ability to:

- ・understand the gist of a news report- extract factual information from a news report
- ・distinguish between fact & opinion
- ・follow the sequence of reported events
- ・make a brief oral / written summary of a news item
- ・recognize characteristic features of broadcast news English

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2A)

10804

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor LECKIE RICHARD W.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3H)

12122

担当者名 / Instructor de SOETE FRANCOIS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor FOSTER JOHN PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3J)

12123

担当者名 / Instructor MCCOLLUM SEAN THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (3K)

11930

担当者名 / Instructor CLAYTON DAVID J M

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (4A)

12127

担当者名 / Instructor RIES BRENDAN JOSEPH

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語2 (4B)

11928

担当者名 / Instructor RIES BRENDAN JOSEPH

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3F)

10792

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (1A)

11012

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3C)

11006

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2B)

11009

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2C)

10803

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2D)

11008

担当者名 / Instructor ウオレスタッド千鶴子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2E)

10798

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2F)

10999

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2G)

10797

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2H)

10998

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (2I)

10799

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3A)

11002

担当者名 / Instructor WILLIS ANGELA SUE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語4 (3B)

10801

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Critical Reading & Discussion

This course aims to promote critical reading and discussion through readings on topics of particular interest to students in the College of Social Sciences (e.g. family, welfare, education, gender, media issues).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・identify the main and supporting ideas of a text
- ・evaluate supporting ideas
- ・distinguish facts from opinions
- ・identify the writer's attitude towards the topic
- ・identify the purposes of a text and the intentions of the writer
- ・compare / contrast the ideas of different writers on an issue

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

Warning against Plagiarism (盗用 / 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor LANGFORD CRAIG M.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

Essential Writing Skills

This course aims to further promote students' general English proficiency, with an emphasis on writing skills development. Students will learn how to organize and develop ideas beyond the sentence level. They will learn how to write in well-structured paragraphs and how to construct longer pieces of writing, including essays with a clear main idea, supporting details and a conclusion. Students will study some of the most common rhetorical patterns of English including comparison & contrast, cause & effect and supporting an opinion. Students will also have practice in the different stages of the writing process, including brainstorming, outlining, revising and editing. As part of this course, each class will produce a collection of student writings in booklet form (bunshu).

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

This course will help students develop a range of skills including, for example, the ability to:

- ・specify a purpose, audience and format for a given writing task
- ・generate ideas using a variety of brainstorming techniques
- ・use an outline to help organize ideas
- ・develop ideas with explanations and relevant examples
- ・construct a coherent paragraph with a clear topic sentence
- ・write an essay with a clear thesis and supporting argument
- ・evaluate and edit others' writing (through peer review activities)
- ・write an essay using multiple sources and appropriate citation techniques

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	First class Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods

Second class and after: The detailed course timetable will be provided in the first class.		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

Class instructors will provide students with more information. 各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。なお、うち5%は12月実施のTOEICを受験することで加算される。

Warning against Plagiarism(盗用/ 剽窃について注意)

All students must know that they may not copy another person's work, in whole or in part, without use of academic citation.

Unacknowledged copying is plagiarism, which is a serious academic offense. If students copy another person's work and submit it under their own name, they risk failing the course.

Submitting the same writing assignment or doing the same presentation more than once (i.e. in two or more different courses) is also a form of academic misconduct and is strictly prohibited.

受講生は他者の作品を引用する場合は、学術的引証の方法を用いなければならない。引用の出典を明示することなく、他者の作品を丸ごとあるいは一部でもコピーしてはならない。出典を明らかにすることなくコピーした場合は、盗用/剽窃であり、重大な不正行為である。他者の作品をコピーして自分の作品として提出した場合は、当該科目の単位が授与されないなど、厳重な処罰の対象となる。また自分の作品でも、同じ作品を2度以上流用して、提出あるいはプレゼンテーションに使用してはならない。そのような行為も不正行為であり、厳重な処罰の対象となる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Students should purchase the required textbook before the first class. The information about the textbook is available from the Co-op (Seikyo) bookstore. Make sure of your class, the instructor's name and the required textbook.

第1回の授業までに自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入して、第1回の授業に必ず持ってくること。

参考書 / Reference Books

Refer to Gaikokugo Gakushuu Handbook. 産業社会学部『外国語学習ハンドブック』本年度版を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・総合Ⅱ (3B)

10093

担当者名 / Instructor 二宗 美紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第7課 Gano por dos a cero.	点過去形, 直接・間接目的語の代名詞
	第8課 Cuando era nina, jugaba al futbol.	線過去形, 所有詞, gustar
	第9課 Que estas haciendo?	現在分詞, 過去分詞, 進行形, 現在完了形
	第10課 Doblaremos a la derecha.	未来形, 過去未来形
	第11課 Oiga, puedo ver ese jersey?	接続法現在形, 関係詞
	第12課 Espero que te guste el regalo.	従属接節と直接法・接続法, 祝福の表現, 命令法・命令文
	まとめ	数詞, 代名詞, 活用
	注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

英語読解演習1(単位回復)(Z2)

12139

担当者名 / Instructor 徳本 恵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、	100 %	オンライン教材 50%
平常点評価		中間テスト 25%
		期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。クラス分け揭示の際、合わせて同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語読解演習1(単位回復)(Z1)

11304

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オンライン教材 50% 中間テスト 25% 期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。クラス分け提示の際、合わせて同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。
 コミュニケーション成立に不可欠な、ドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。
 またDVD教材を通して、ドイツ語圏の若者の日常生活も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語の綴りと発音に慣れる。
 簡単な自己紹介や他己紹介ができる。
 持ち物の有無や、誰の所有物かが表現できる。
 学生生活についての簡単な情報の理解・表現ができる。
 飲食店で注文ができる。
 数が理解でき、数えられる。
 もののある場所や、目的地などが表現できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶、数詞
2-3	Lektion 1: Kennst du Lena?	人称と動詞の現在人称変化、定動詞の位置、動詞sein
4-5	Lektion 2: Hast du einen Kugelschreiber?	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格、動詞haben
6-7	Lektion 3: Hast du die Bälle?	名詞の複数形、複数名詞の格、男性弱変化名詞
8-9	Lektion 4: Ich bringe dir die Pommes.	不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞werden
10-12	Lektion 5: Ich fahre in die Stadt.	前置詞
13-14	Lektion 6: Dein Handy ist nicht kaputt.	定冠詞類、不定冠詞類
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につつきやすくなります

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来—映像と会話で学ぶ初級ドイツ語— Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円

教科書は後期の「総合II」でも、続けて使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・総合 I (3B)

10013

担当者名 / Instructor 中村 多文字

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	文字・発音	アルファベット, 母音, 子音, アクセント
	第1課 Eres Monica?	serを使った文, 定冠詞・名詞, 文の種類
	第2課 Donde estas?	主語の代名詞, serとestar, 不定冠詞・形容詞, 基数(1~10)
	第3課 Que bien bailas!	規則動詞現在形(ar動詞, er動詞, ir動詞)
	第4課 Tengo que ir.	不規則動詞現在形(tenerとir, quererとpoder)
	第5課 Este autobus sale mas temprano.	指示詞, 比較級・最上級, 疑問詞
	第6課 Se ve muy bien.	再帰動詞, 基数(11~), 序数
注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /

後期の「スペイン語総合 II」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・総合 I (3C)

10149

担当者名 / Instructor 中村 多文字

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	文字・発音	アルファベット, 母音, 子音, アクセント
	第1課 Eres Monica?	serを使った文, 定冠詞・名詞, 文の種類
	第2課 Donde estas?	主語の代名詞, serとestar, 不定冠詞・形容詞, 基数(1~10)
	第3課 Que bien bailas!	規則動詞現在形(ar動詞, er動詞, ir動詞)
	第4課 Tengo que ir.	不規則動詞現在形(tenerとir, quererとpoder)
	第5課 Este autobus sale mas temprano.	指示詞, 比較級・最上級, 疑問詞
	第6課 Se ve muy bien.	再帰動詞, 基数(11~), 序数
	注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋敦隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /

後期の「スペイン語総合 II」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・総合Ⅱ (3A)

10092

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第7課 Gano por dos a cero.	点過去形, 直接・間接目的語の代名詞
	第8課 Cuando era nina, jugaba al futbol.	線過去形, 所有詞, gustar
	第9課 Que estas haciendo?	現在分詞, 過去分詞, 進行形, 現在完了形
	第10課 Doblaremos a la derecha.	未来形, 過去未来形
	第11課 Oiga, puedo ver ese jersey?	接続法現在形, 関係詞
	第12課 Espero que te guste el regalo.	従属接節と直接法・接続法, 祝福の表現, 命令法・命令文
	まとめ	数詞, 代名詞, 活用
	注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /

前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

ドイツ語・展開 (2A)

10270

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひとつおひと学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「基礎」で学習した事項の確認	
2-4	Lek.5A Was hast du in den Sommerferien gemacht?	動詞の3基本形、現在完了
5-7	Lek.5B Ich war in Köln.	動詞の過去人称変化、接続詞と副文、副詞句、数詞(3)
8-10	Lek.6A Alles Gute zum Geburtstag!	受動文、序数・日付
11-13	Lek.6B Es ist hier sehr warm.	非人称表現、zu不定詞句
14-16	Lek.7A Der blaue Rock hier ist ganz toll.	形容詞の格変化、形容詞の比較級・最上級
17-19	Lek.7B Ich habe mich erkältet.	再帰代名詞と再帰動詞
20-23	Lek.8A Die Weihnachtszeit beginnt	指示代名詞と関係代名詞、関係副詞、関係文
24-27	Lek.8B Auf dem Weihnachtsmarkt.	接続法、非現実話法
28-30	学習した事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイVer.2.0	立教大学ドイツ語教室研究室／朝日出版社／978-4-255-25351-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・総合Ⅱ (3C)

10231

担当者名 / Instructor 二宗 美紀

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第7課 Gano por dos a cero.	点過去形, 直接・間接目的語の代名詞
	第8課 Cuando era nina, jugaba al futbol.	線過去形, 所有詞, gustar
	第9課 Que estas haciendo?	現在分詞, 過去分詞, 進行形, 現在完了形
	第10課 Doblaremos a la derecha.	未来形, 過去未来形
	第11課 Oiga, puedo ver ese jersey?	接続法現在形, 関係詞
	第12課 Espero que te guste el regalo.	従属接節と直接法・接続法, 祝福の表現, 命令法・命令文
	まとめ	数詞, 代名詞, 活用
	注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

スペイン語・総合Ⅱ (3D)

12286

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第7課 Gano por dos a cero.	点過去形, 直接・間接目的語の代名詞
	第8課 Cuando era nina, jugaba al futbol.	線過去形, 所有詞, gustar
	第9課 Que estas haciendo?	現在分詞, 過去分詞, 進行形, 現在完了形
	第10課 Doblaremos a la derecha.	未来形, 過去未来形
	第11課 Oiga, puedo ver ese jersey?	接続法現在形, 関係詞
	第12課 Espero que te guste el regalo.	従属接節と直接法・接続法, 祝福の表現, 命令法・命令文
	まとめ	数詞, 代名詞, 活用
	注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /
前期の「スペイン語総合Ⅰ」の教科書を継続使用する。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

ドイツ語・総合Ⅱ (3B)

10082

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーション成立に不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も、少しずつ身につけるようにします。またDVD教材を使い、ドイツ語圏の若者が話す生きたドイツ語に触れると共に、日常生活の様子も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

理由が述べられる。
助動詞を使って、義務や可能性、願望、禁止事項などが表現できる。
過去の出来事について書かれた簡単な文章を理解したり、表現できる。
時刻の理解・表現ができる。
住まいについて簡単な会話ができる。
形容詞を使って、人やものの性質を述べたり、比較ができる。
基礎的な文法事項をひとつひとつ学習することによって、今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lektion 7: Die Party fängt um acht Uhr an.	分離動詞、副文、従属接続詞
4-5	Lektion 8: Im Restaurant darfst du aber nicht rauchen	話法の助動詞、未来形
6-7	Lektion 9: War die Reise schön?	動詞の三基本形、過去人称変化
8-9	Lektion 10: Ich habe es mit 28 geschafft	現在完了、非人称のes
10-12	Lektion 11: Musst du eine hohe Miete bezahlen?	形容詞の語尾変化、比較級、最上級
13-14	Lektion 12: Ich beschäftige mich gern mit Kindern	受動態、再帰代名詞、再帰動詞
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につつきやすくなります。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来—映像と会話で学ぶ初級ドイツ語— Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円

「総合Ⅰ」の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む)/ How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・総合 I (3A)

10004

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	文字・発音	アルファベット, 母音, 子音, アクセント
	第1課 Eres Monica?	serを使った文, 定冠詞・名詞, 文の種類
	第2課 Donde estas?	主語の代名詞, serとestar, 不定冠詞・形容詞, 基数(1~10)
	第3課 Que bien bailas!	規則動詞現在形(ar動詞, er動詞, ir動詞)
	第4課 Tengo que ir.	不規則動詞現在形(tenerとir, quererとpoder)
	第5課 Este autobus sale mas temprano.	指示詞, 比較級・最上級, 疑問詞
	第6課 Se ve muy bien.	再帰動詞, 基数(11~), 序数
注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /

後期の「スペイン語総合 II」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

ドイツ語・総合 I (3B)

10012

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。
 コミュニケーション成立に不可欠な、ドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。
 またDVD教材を通して、ドイツ語圏の若者の日常生活も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語の綴りと発音に慣れる。
 簡単な自己紹介や他己紹介ができる。
 持ち物の有無や、誰の所有物かが表現できる。
 学生生活についての簡単な情報の理解・表現ができる。
 飲食店で注文ができる。
 数が理解でき、数えられる。
 もののある場所や、目的地などが表現できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶、数詞
	2-3 Lektion 1: Kennst du Lena?	人称と動詞の現在人称変化、定動詞の位置、動詞sein
	4-5 Lektion 2: Hast du einen Kugelschreiber?	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格、動詞haben
	6-7 Lektion 3: Hast du die Bälle?	名詞の複数形、複数名詞の格、男性弱変化名詞
	8-9 Lektion 4: Ich bringe dir die Pommes.	不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞werden
	10-12 Lektion 5: Ich fahre in die Stadt.	前置詞
	13-14 Lektion 6: Dein Handy ist nicht kaputt.	定冠詞類、不定冠詞類
	15 これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につつきやすくなります

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来—映像と会話で学ぶ初級ドイツ語— Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円

教科書は後期の「総合II」でも、続けて使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・総合Ⅱ (3C)

12280

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーション成立に不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も、少しずつ身につけるようにします。またDVD教材を使い、ドイツ語圏の若者が話す生きたドイツ語に触れると共に、日常生活の様子も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

理由が述べられる。
助動詞を使って、義務や可能性、願望、禁止事項などが表現できる。
過去の出来事について書かれた簡単な文章を理解したり、表現できる。
時刻の理解・表現ができる。
住まいについて簡単な会話ができる。
形容詞を使って、人やものの性質を述べたり、比較ができる。
基礎的な文法事項をひとつひとつ学習することによって、今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lektion 7: Die Party fängt um acht Uhr an.	分離動詞、副文、従属接続詞
4-5	Lektion 8: Im Restaurant darfst du aber nicht rauchen	話法の助動詞、未来形
6-7	Lektion 9: War die Reise schön?	動詞の三基本形、過去人称変化
8-9	Lektion 10: Ich habe es mit 28 geschafft	現在完了、非人称のes
10-12	Lektion 11: Musst du eine hohe Miete bezahlen?	形容詞の語尾変化、比較級、最上級
13-14	Lektion 12: Ich beschäftige mich gern mit Kindern	受動態、再帰代名詞、再帰動詞
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につつきやすくなります。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来—映像と会話で学ぶ初級ドイツ語— Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円
「総合Ⅰ」の教科書を引き続き使用します。	

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む)/ How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語と文化Ⅱ(単位回復)(Z1)

11325

担当者名 / Instructor 金 容賛

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする。毎回、授業の前半は朝鮮語を学習し、授業の後半は朝鮮の文化について学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2. 基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス(授業の説明、評価方法など)・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングルのまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト(60分)解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストは毎回、教員が印刷して配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・総合 I (3D)

12214

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(基本的な現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	文字・発音	アルファベット, 母音, 子音, アクセント
	第1課 Eres Monica?	serを使った文, 定冠詞・名詞, 文の種類
	第2課 Donde estas?	主語の代名詞, serとestar, 不定冠詞・形容詞, 基数(1~10)
	第3課 Que bien bailas!	規則動詞現在形(ar動詞, er動詞, ir動詞)
	第4課 Tengo que ir.	不規則動詞現在形(tenerとir, quererとpoder)
	第5課 Este autobus sale mas temprano.	指示詞, 比較級・最上級, 疑問詞
	第6課 Se ve muy bien.	再帰動詞, 基数(11~), 序数
注意: 上記のように教科書に沿って進める。授業は15回なのでそれぞれの課を平均2回の授業で進めることになる(受講生の理解度等に応じて進度は調整する)。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回、予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマム・スペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8086-3034-8 /

後期の「スペイン語総合 II」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直, 他 / 小学館 / 4-09-515522-1 / 辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。(C)でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

ドイツ語・基礎 (2A)

10186

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につける必要があります。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とアルファベット
	2-4 Lek.1A Wie heißt du?	ドイツ語の文の作り方(1)、動詞の現時人称変化(1)、あいさつ(1)、数詞(1)
	5-7 Lek.1B Haben Sie morgen Abend Zeit?	ドイツ語の文の作り方(2)、seinとhabenの現在人称変化、発音上注意の必要な動詞
	8-10 Lek.2A Einen Kaffee bitte!	名詞と冠詞の性・数・格、値段の表現、数詞(2)
	11-13 Lek.2B Das ist meine Familie.	名詞の複数、所有冠詞・否定冠詞
	14-16 Lek.3A Er spricht sehr gut Deutsch.	動詞の現在人称変化(2)、疑問文に対する答え方、時刻の表現
	17-19 Lek.3B Welche Stadt empfiehlst du uns?	定冠詞類と不定冠詞類、定冠詞類の格変化、人称代名詞の格変化、疑問詞、3格と4格の順番
	20-24 Lek.4A Endlich sind wir in Leipzig!	前置詞の格支配、曜日・月・季節の名称
	25-28 Lek.4B Ich rufe dich an.	話法の助動詞、分離動詞、梓構造、時を表す表現
	29-30 前期の学習事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラッセ・ノイVer.2.0	立教大学ドイツ語教育研究室／朝日出版社／78-4-255-25351-0 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語と文化Ⅱ(単位回復)(Z1)

11324

担当者名 / Instructor 福森 雅史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は、基本的に簡単なスペイン語文の読み書きの練習および語彙習得を中心に講義形式で行いますが、随時、スペイン文化についての紹介もしていきます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション／前期の復習 ①(名詞／形容詞／指示形容詞／指示代名詞／人称代名詞／語順)	
2	前期の復習 ②(規則変化動詞／ser動詞／estar動詞／hay)	
3	不規則変化動詞(Yo型)／食べ物	
4	不規則変化動詞(語幹母音変化動詞型)	
5	不規則変化動詞(Yo+語幹母音変化動詞型)／前置詞／前置詞格代名詞／食べ物	
6	目的格代名詞の種類／直接目的格代名詞／間接目的格代名詞	
7	目的格代名詞の位置／副詞	
8	gustar型動詞／所有形容詞(後置形)／祭り・観光	
9	再帰動詞／再帰代名詞	
10	直接再帰用法／間接再帰用法／相互用法	
11	再帰受身用法／不定主語用法／その他の再帰用法／文学・思想	
12	肯定命令文／接続法	
13	否定命令文／弱い代名詞の位置	
14	後期の復習	
15	まとめの確認テストおよびその講評	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	まとめの確認テスト 小テスト

授業参加態度

成績はCまたはFでの評価となります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出てから困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が生きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しません。適宜プリントを配布します。
かなりの量の板書のするので、必ずノートを持参してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 978-4-560-00677-1 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>
スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

何か質問等ありましたら、以下のアドレスまで連絡してください。
fukumori74@yahoo.co.jp

その他 / Other

拡張項目

中国語中級表現読解Ⅴ (K)

10657

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語検定3級合格

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 第7課「看病」(1)	
	第2回 第7課「看病」(2)	
	第3回 第8課「去理发店」(1)	
	第4回 第8課「去理发店」(2)	
	第5回 第9課「去旅行」(1)	
	第6回 第9課「去旅行」(2)	
	第7回 60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
	第8回 第10課「买手机」(1)	
	第9回 第10課「买手机」(2)	
	第10回 第11課「租房子」(1)	
	第11回 第11課「租房子」(2)	
	第12回 第12課「给父母的一封信」(1)	
	第13回 第12課「给父母的一封信」(2)	
	第14回 総復習	
	第15回 60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・出席、予習、宿題、授業中の発言 50% ・到達度確認テスト 50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語の光彩	山田留里子他／駿河台出版社／／

参考書 / Reference Books

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

中日辞典(第2版)

／小学館／／

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語中級表現読解Ⅳ (K)

10631

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校時に学習した中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語検定4級合格。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 一年間のスケジュール説明および小テスト	
	第2回 第1課「到达中国」(1)	
	第3回 第1課「到达中国」(2)	
	第4回 第2課「在小王家吃饭」(1)	
	第5回 第2課「在小王家吃饭」(2)	
	第6回 第3課「打电话」(1)	
	第7回 第3課「打电话」(2)	
	第8回 60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
	第9回 第4課「问路」(1)	
	第10回 第4課「问路」(2)	
	第11回 第5課「去邮局」(1)	
	第12回 第5課「去邮局」(2)	
	第13回 第6課「去饭店」(1)	
	第14回 第6課「去饭店」(2)	
	第15回 60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・出席、予習、宿題、授業中の発言 50% ・到達度確認テスト 50%
辞書が必要です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語の光彩	山田留里子他/駿河台出版社//

参考書 / Reference Books

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

中日辞典(第2版)

／小学館／／

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語と文化 I (単位回復) (Z1)

11313

担当者名 / Instructor 福森 雅史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は、基本的に簡単なスペイン語文の読み書きの練習および語彙習得を中心に講義形式で行いますが、随時、スペイン文化についての紹介もしていきます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション／スペイン語とスペイン語圏の国々について／アルファベット	
2	読みの基本／スペイン語独特の読みをする文字(c, qu-, cu-, z, g, gu-, j)	
3	スペイン語独特の読みをする文字(d, h, ll, ñ, r, x, v, y)	
4	二重母音／三重母音／二重子音／音節／アクセント／数字(0～10)／挨拶表現	
5	名詞の特徴／名詞の性／スペイン人の名前	
6	名詞の数／冠詞／“数詞＋名詞, por favor.”	
7	形容詞の役割／形容詞の語尾変化	
8	形容詞の位置／指示形容詞／“¡Que＋形容詞[＋名詞]!”／スペインの生活習慣	
9	主格人称代名詞／スペイン語の語順／動詞の特徴	
10	規則変化動詞の活用: -ar, -er, -ir／現在形の用法	
11	ser動詞とestar動詞／ser動詞の活用／ser動詞の用法／建築・美術	
12	指示代名詞／国名・国民・言語／数字(11～100)／時間表現	
13	estar動詞の活用／estar動詞の用法／hay／場所を表す副詞(句)	
14	前期範囲の復習	
15	まとめの確認テスト およびその講評	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	まとめの確認テスト 小テスト 授業参加態度

成績はCまたはFでの評価となります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出てから困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が活きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

教科書 / Textbooks

テキストは使用しません。適宜プリントを配布します。

かなりの量の板書のするので、必ずノートを持参してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

改訂スペイン語の入門

瓜谷良平 / 白水社 / 978-4-560-00677-1 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定 : <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

DELE : <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省) : <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

何か質問等ありましたら、以下のアドレスまで連絡してください。

fukumori74@yahoo.co.jp

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。
コミュニケーション成立に不可欠な、ドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。
またDVD教材を通して、ドイツ語圏の若者の日常生活も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語の綴りと発音に慣れる。
簡単な自己紹介や他己紹介ができる。
持ち物の有無や、誰の所有物かが表現できる。
学生生活についての簡単な情報の理解・表現ができる。
飲食店で注文ができる。
数が理解でき、数えられる。
もののある場所や、目的地などが表現できる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶、数詞
	2-3 Lektion 1: Kennst du Lena?	人称と動詞の現在人称変化、定動詞の位置、動詞sein
	4-5 Lektion 2: Hast du einen Kugelschreiber?	名詞の性、定冠詞と不定冠詞、名詞の格、動詞haben
	6-7 Lektion 3: Hast du die Bälle?	名詞の複数形、複数名詞の格、男性弱変化名詞
	8-9 Lektion 4: Ich bringe dir die Pommes.	不規則動詞、命令形、人称代名詞、動詞werden
	10-12 Lektion 5: Ich fahre in die Stadt.	前置詞
	13-14 Lektion 6: Dein Handy ist nicht kaputt.	定冠詞類、不定冠詞類
	15 これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につつきやすくなります

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来—映像と会話で学ぶ初級ドイツ語— Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円

教科書は後期の「総合II」でも、続けて使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む)/ How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・応用Ⅱ (2A)

11427

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

日常的なコミュニケーションをとるためのスペイン語を養い、よく使われる語彙を習い、スペイン語文化を学びながら会話を練習する。
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

スペイン語表現Ⅱ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Repaso del curso anterior	Unidad 8
	Unidad 8	Saber, conocer, poder, querer動詞直説法現在と用法
	Unidad 9	間接目的人称代名詞、前置詞、Dar, traer, decir動詞直説法現在
	Unidad 9	比較表現Ⅰ、不規則な比較級を持つ形容詞、最上級
	Unidad 10	Gustar動詞直説法現在、gustarと同じように用いられる動詞
	Unidad 10	比較表現Ⅱ、比較表現Ⅲ
	Unidad 11	Doler動詞直説法現在、感嘆文
	Unidad 11	Tener que + 不定詞、hay que + 不定詞、不定語と否定語
	Unidad 14	直説法現在完了
	Unidad 12	直説法過去
	Unidad 13	直説法線過去
	Unidad 15	命令形
	Repaso 1, presentacion DELE A1/A2	復習-1-、DELE A1/A2の紹介
	Repaso 2 y examen (60m) tipo DELE A1/A2	復習-2-、試験(60分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。

Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自習や予習等は望ましい

Auto estudio es altamente recomendado

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol / Asahi / 978-4-255-55032-9 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語文法ハンドブック	上田博人 / 研究社 / 978-4-327-39420-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

<http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/>
<http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html>

<http://www.rtve.es/mediateca/videos/>

<http://www.elpais.com/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・応用 I (2B)

11518

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

日常的なコミュニケーションをとるためのスペイン語を養い、よく使われる語彙を習い、スペイン語文化を学びながら会話を練習する。
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

スペイン語表現 II

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Unidad 2	SER直説法現在、名詞の性数、定冠詞 Presente de indicativo del verbo ser, genero y numero de los sustantivos, articulo determinado
	Unidad 2	主語代名詞、疑問文と否定文 Pronombres personales de sujeto, oraciones interrogativas y oraciones negativas
	Unidad 3	ener直説法現在、不定冠詞、疑問詞 I Presente de indicativo del verbo tener, articulos indeterminados, particulas interrogativas 1
	Unidad 3	品質形容詞、所有詞前置形、 Adjetivos calificativos, adjetivos posesivos atonos
	Unidad 4	Estar直説法現在、Haberの用法、Estarの用法 Presente de indicativo del verbo haber, usos de haber, usos de estar
	Unidad 4	指示形容詞、指示代名詞 Adjetivos demostrativos, pronombres demostrativos
	Unidad 5	規則動詞直説法現在、疑問詞 II Conjugacion regular del presente de indicativo, particulas interrogativas 2
	Unidad 5	不規則動詞直説法現在 (Hacer,ir) Conjugacion irregular del presente de indicativo
	Unidad 6	未来を表す Ir a +不定詞、前置詞 Futuro con ir a + infinitivo, preposiciones
	Unidad 6	語幹母音変化動詞 I Verbos con cambio vocalico
	Unidad 7	語幹母音変化動詞 II Verbos con cambio vocalico
	Unidad 7	再帰動詞 Verbos reflexivos
	Repaso 1	復習-1-
	Repaso 2, presentacion de DELE A1	復習-2-, DELE A1を紹介
	Repaso 3 y examen (60m) tipo DELE A1	復習-3-, 試験(60分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自習や予習等は望ましい

Auto estudio es altamente recomendado

教科書 / Textbooks

書名 / Title

ENTRE AMIGOS

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Equipo para la elaboracion de manuales de espanol / Asahi / 978-4-255-55032-9 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title

スペイン語文法ハンドブック

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

上田博人 / 研究社 / 978-4-327-39420-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

<http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/><http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html><http://www.rtve.es/mediateca/videos/><http://www.elpais.com/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・応用 I (2A)

11351

担当者名 / Instructor LOPEZ JARA SANTIAGO

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

日常的なコミュニケーションをとるためのスペイン語を養い、よく使われる語彙を習い、スペイン語文化を学びながら会話を練習する。
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

スペイン語表現 II

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Unidad 2	SER直説法現在、名詞の性数、定冠詞 Presente de indicativo del verbo ser, genero y numero de los sustantivos, articulo determinado
	Unidad 2	主語代名詞、疑問文と否定文 Pronombres personales de sujeto, oraciones interrogativas y oraciones negativas
	Unidad 3	ener直説法現在、不定冠詞、疑問詞 I Presente de indicativo del verbo tener, articulos indeterminados, particulas interrogativas 1
	Unidad 3	品質形容詞、所有詞前置形、 Adjetivos calificativos, adjetivos posesivos atonos
	Unidad 4	Estar直説法現在、Haberの用法、Estarの用法 Presente de indicativo del verbo haber, usos de haber, usos de estar
	Unidad 4	指示形容詞、指示代名詞 Adjetivos demostrativos, pronombres demostrativos
	Unidad 5	規則動詞直説法現在、疑問詞 II Conjugacion regular del presente de indicativo, particulas interrogativas 2
	Unidad 5	不規則動詞直説法現在 (Hacer,ir) Conjugacion irregular del presente de indicativo
	Unidad 6	未来を表す Ir a +不定詞、前置詞 Futuro con ir a + infinitivo, preposiciones
	Unidad 6	語幹母音変化動詞 I Verbos con cambio vocalico
	Unidad 7	語幹母音変化動詞 II Verbos con cambio vocalico
	Unidad 7	再帰動詞 Verbos reflexivos
	Repaso 1	復習-1-
	Repaso 2, presentacion de DELE A1	復習-2-, DELE A1を紹介
	Repaso 3 y examen (60m) tipo DELE A1	復習-3-, 試験(60分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自習や予習等は望ましい

Auto estudio es altamente recomendado

教科書 / Textbooks

書名 / Title

ENTRE AMIGOS

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Equipo para la elaboracion de manuales de espanol / Asahi / 978-4-255-55032-9 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title

スペイン語文法ハンドブック

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

上田博人 / 研究社 / 978-4-327-39420-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

<http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/>

<http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html>

<http://www.rtve.es/mediateca/videos/>

<http://www.elpais.com/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

英語読解演習2(単位回復)(Z1)

11316

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	オンライン教材 50% 中間テスト 25% 期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。授業内で同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・総合Ⅱ (3A)

12429

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーション成立に不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も、少しずつ身につけるようにします。またDVD教材を使い、ドイツ語圏の若者が話す生きたドイツ語に触れると共に、日常生活の様子も紹介します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

理由が述べられる。

助動詞を使って、義務や可能性、願望、禁止事項などが表現できる。
過去の出来事について書かれた簡単な文章を理解したり、表現できる。
時刻の理解・表現ができる。
住まいについて簡単な会話ができる。
形容詞を使って、人やものの性質を述べたり、比較ができる。
基礎的な文法事項をひととおり学習することによって、今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	Lektion 7: Die Party fängt um acht Uhr an.	分離動詞、副文、従属接続詞
4-5	Lektion 8: Im Restaurant darfst du aber nicht rauchen	話法の助動詞、未来形
6-7	Lektion 9: War die Reise schön?	動詞の三基本形、過去人称変化
8-9	Lektion 10: Ich habe es mit 28 geschafft	現在完了、非人称のes
10-12	Lektion 11: Musst du eine hohe Miete bezahlen?	形容詞の語尾変化、比較級、最上級
13-14	Lektion 12: Ich beschäftige mich gern mit Kindern	受動態、再帰代名詞、再帰動詞
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。語学学習は日々の積み重ねが大切です。一度に長時間学習するよりも、短時間でも毎日ドイツ語に触れた方が、語学力は身につくようになります。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、授業への参加度、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる総合的評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書には、CD教材と単語集(巻末)が付いています。発音の確認や、単語の学習に最大限活用して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ぼくらの未来 映像と会話で学ぶ初級ドイツ語 Hallo, Benni!	荻野蔵平 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25353-4 / 2625円

「総合Ⅰ」の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)

文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語読解演習1(単位回復)(Z3)

12810

担当者名 / Instructor 森井 祐介

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、	100 %	オンライン教材 50%
平常点評価		中間テスト 25%
		期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。クラス分け揭示の際、合わせて同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語読解演習2(単位回復)(Z2)

10658

担当者名 / Instructor 中島 剛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、	100 %	オンライン教材 50%
平常点評価		中間テスト 25%
		期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。授業内で同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語読解演習2(単位回復)(Z3)

12834

担当者名 / Instructor 森井 祐介

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本的な英語読解能力の養成を目指す。オンライン教材を活用して受講者の習熟度に応じた演習を行うとともに、インターネット上で公開されているニュース記事の読解を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・読解に役立つ基本スキルを身につける。
- ・読解のスキルや文法の知識を活用し、ニュース記事の要点をすばやく正確に読み取ることができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1~7	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
8	質疑応答、中間テスト、オンライン教材演習	
9~14	オンライン教材を利用した演習	ニュース記事の読解
15	質疑応答、期末テスト、オンライン教材演習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業で使用するオンライン教材は学外からも利用可能である。授業外でも積極的に取り組むように。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、	100 %	オンライン教材 50%
平常点評価		中間テスト 25%
		期末テスト 25%

本科目の成績評価はCまたはFのみである。また全15回の授業のうち、3分の2以上の出席を単位授与の要件とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

オンライン教材として成美堂の「New Practical English総合英語コース」を使用する。授業内で同教材のレベル指定を行う。各自、指定されたレベルのスタートアップガイドを購入すること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・応用Ⅱ (2B)

11623

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

日常的なコミュニケーションをとるためのスペイン語を養い、よく使われる語彙を習い、スペイン語文化を学びながら会話を練習する。
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

スペイン語表現Ⅱ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	Repaso del curso anterior	Unidad 8
	Unidad 8	Saber, conocer, poder, querer動詞直説法現在と用法
	Unidad 9	間接目的人称代名詞、前置詞、Dar, traer, decir動詞直説法現在
	Unidad 9	比較表現Ⅰ、不規則な比較級を持つ形容詞、最上級
	Unidad 10	Gustar動詞直説法現在、gustarと同じように用いられる動詞
	Unidad 10	比較表現Ⅱ、比較表現Ⅲ
	Unidad 11	Doler動詞直説法現在、感嘆文
	Unidad 11	Tener que + 不定詞、hay que + 不定詞、不定語と否定語
	Unidad 14	直説法現在完了
	Unidad 12	直説法過去
	Unidad 13	直説法線過去
	Unidad 15	命令形
	Repaso 1, presentacion DELE A1/A2	復習-1-、DELE A1/A2の紹介
	Repaso 2 y examen (60m) tipo DELE A1/A2	復習-2-、試験(60分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。

Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、まとめのテスト、授業への積極的参加、インタビュー、等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

自習や予習等は望ましい

Auto estudio es altamente recomendado

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol / Asahi / 978-4-255-55032-9 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語文法ハンドブック	上田博人 / 研究社 / 978-4-327-39420-2 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

<http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/>
<http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html>

<http://www.rtve.es/mediateca/videos/>

<http://www.elpais.com/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語と文化Ⅱ(単位回復)(Z1)

12846

担当者名 / Instructor 千川 哲生

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語の基本的な発音・文法・単語・表現を習得します。また語学の学習を通して、フランス語圏の文化も同時に学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基礎的なフランス語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	テーマ/Theme 授業説明と導入	キーワード/Key Word アルファベ, 発音, 数字
2	テーマ/Theme パリのセーヌ河岸(1)	キーワード/Key Word 挨拶の仕方, 名詞の性数, 冠詞
3	テーマ/Theme パリのセーヌ河岸(2)	キーワード/Key Word 冠詞の縮約, 提示表現
4	テーマ/Theme ヴェルサイユ宮殿	キーワード/Key Word 主語人称代名詞, etreとavoirの活用
5	テーマ/Theme シャルトルの大聖堂	キーワード/Key Word 形容詞, avoirを用いた表現
6	テーマ/Theme モン＝サン＝ミシエル	キーワード/Key Word er動詞, 所有形容詞, 指示形容詞
7	テーマ/Theme パリの地下鉄	キーワード/Key Word 人称代名詞強勢形, er動詞の変則
8	テーマ/Theme ロワール渓谷	キーワード/Key Word 否定文, 疑問文, 疑問形容詞
9	テーマ/Theme ランスのノートルダム大聖堂	キーワード/Key Word aller/venir, 近い過去, 近い未来の言い方
10	テーマ/Theme リヨン歴史地区	キーワード/Key Word 中性代名詞, 命令形, 疑問副詞
11	テーマ/Theme アヴィニオン歴史地区	キーワード/Key Word 目的補語人称代名詞, 代名動詞
12	テーマ/Theme アルルのローマ遺跡とポン・デュ・ガール	キーワード/Key Word 比較級と最上級
13	テーマ/Theme カルカソンヌの城塞都市	キーワード/Key Word 複合過去
14	テーマ/Theme サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路	キーワード/Key Word 半過去
15	テーマ/Theme ヴェゼール渓谷と先史時代の遺跡	キーワード/Key Word 総復習(文法事項、熟語表現、重要単語)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

宿題を課すことがありますので、必ずこれを果たしてから授業に臨んで下さい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席状況、小テスト、授業への参加状況、および到達度検証試験(複数回実施)を総合的に評価します。評価はCまたはFのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
世界遺産で学ぶフランス語	大津俊克 / 朝日出版社 / 978-4-255-35191-9 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	/ 白水社 / 仏和辞典
クラウン	/ 三省堂 / 仏和辞典
クラウン(小型版)	/ 三省堂 / 仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/ 旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ

／小学館／／仏和辞典

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

基本中国語(単位回復)(B)

12169

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要基本単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業概要説明。テキスト学習:発音編:1)四声と短母音を覚えましょう~。小テスト。	
2	発音編:2)子音を覚えましょう。3)複母音を覚えましょう。	
3	4)nとngの区別をしましょう~6)中国語の世界。数字1~10。	
4	発音編復習と発音編テスト。	
5	第1課:表現のポイント:判断文・疑問文、その他。単語小テスト。	
6	第1課:本文「初対面の挨拶と自己紹介」。練習問題プリント。朗読テスト。	
7	第2課:表現のポイント:動詞述語文、その他。単語小テスト。	
8	第2課:本文「出身地・家族構成・職業を語る」。練習問題プリント。朗読テスト。	
9	第3課:表現のポイント:形容詞述語文、その他。単語小テスト。	
10	第3課:本文「大学生活を語る」。練習問題プリント。朗読テスト。	
11	第4課:表現のポイント:存在をあらわす表現、その他。単語小テスト。	
12	第4課:本文「道順を聞く」。練習問題プリント。朗読テスト。	
13	第5課:表現のポイント:アスペクト助詞、その他。単語小テスト。	
14	第5課:本文「買い物」。練習問題プリント。朗読テスト。	
15	授業の総まとめ(45分)。総合テスト(45分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

第1課から新出単語の小テストを実施する、漢字(簡体字)とピンインを覚えてくること。また、本文の朗読テストも実施する、付属CDをよく聞いて練習してくること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席回数(3分の2以上=10回以上の出席が必要)、発音編テスト、小テスト、朗読テスト、総合テスト。
初修外国語単位回復科目の成績評価はCまたはFと決められており、この授業もその規定に従う。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか/郁文堂/978-4-261-01837-0/5回生以上は旧版でもよい。
新コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか/郁文堂/978-4-261-01852-3/1~4回生。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

基本中国語(単位回復) (A)

12144

担当者名 / Instructor 宮城 美雪

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要基本単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業概要説明。テキスト学習:発音編:1)四声と短母音を覚えましょう~。小テスト。	
2	発音編:2)子音を覚えましょう。3)複母音を覚えましょう。	
3	4)nとngの区別をしましょう~6)中国語の世界。数字1~10。	
4	発音編復習と発音編テスト。	
5	第1課:表現のポイント:判断文・疑問文、その他。単語小テスト。	
6	第1課:本文「初対面の挨拶と自己紹介」。練習問題プリント。朗読テスト。	
7	第2課:表現のポイント:動詞述語文、その他。単語小テスト。	
8	第2課:本文「出身地・家族構成・職業を語る」。練習問題プリント。朗読テスト。	
9	第3課:表現のポイント:形容詞述語文、その他。単語小テスト。	
10	第3課:本文「大学生活を語る」。練習問題プリント。朗読テスト。	
11	第4課:表現のポイント:存在をあらわす表現、その他。単語小テスト。	
12	第4課:本文「道順を聞く」。練習問題プリント。朗読テスト。	
13	第5課:表現のポイント:アスペクト助詞、その他。単語小テスト。	
14	第5課:本文「買い物」。練習問題プリント。朗読テスト。	
15	授業の総まとめ(45分)総合テスト(45分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

第1課から新出単語の小テストを実施する、漢字(簡体字)とピンインを覚えてくること。また、本文の朗読テストも実施する、付属CDをよく聞いて練習してくること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席回数(3分の2以上=10回以上の出席が必要)、発音編テスト、小テスト、朗読テスト、総合テスト。
初修外国語単位回復科目の成績評価はCまたはFと決められており、この授業もその規定に従う。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか/郁文堂/978-4-261-01837-0/5回生以上は旧版でもよい。
新コミュニケーション中国語Level1	岡田英樹ほか/郁文堂/978-4-261-01852-3/2~4回生。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

フランス語中級表現読解 I (K)

13449

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に通いフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、レベル的に仏検3級を目指します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	フランス語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去(1)	
7	複合過去(2)	
8	半過去(1)	
9	半過去(2)	
10	複合過去と半過去	
11	大過去	
12	複合過去と半過去と大過去(1)	
13	複合過去と半過去と大過去(2)	
14	練習問題	名詞の分類から大過去まで
15	総括講義(30分)・到達度検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 平常点4割、到達度検証テスト6割
平常点評価

三分の二以上の出席と到達度検証テストでのミニマムレベルクリアが不可欠です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材を配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

中国語上級表現読解Ⅱ (K)

13143

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、一回生時に身に付けた中国語能力の実情を踏まえながら、主に読解力の中国語運用能力を養成することを目標とする。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎ 中上級程度の読解力を身に付ける。
- ◎ 中級程度の表現を身に付ける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 導入。授業について相談する。	
	第2回 四月十四炸醬麵(1)	
	第3回 四月十四炸醬麵(2)	
	第4回 北京的吃(1)	
	第5回 北京的吃(2)	
	第6回 流泪手机(1)	
	第7回 流泪手机(2)	
	第8回 来往中日之間的福原愛(1)	
	第9回 来往中日之間的福原愛(2)	
	第10回 万人民調(1)	
	第11回 万人民調(2)	
	第12回 我戀愛他結婚(1)	
	第13回 我戀愛他結婚(2)	
	第14回 少說話!	
	第15回 確認テスト(50分)、解説、前期のまとめ(40分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、 小テスト、確認テストは50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
行人	東京大学教養学部中国語部会編 / 東京大学出版会 / /

中日辞典は毎回必ず授業時に持ってくること。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語中級コミュニケーション I (KB)

11200

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語の「話し・聞き・読み・書く」四技能を、会話力を中心にさらに磨き上げることを目標とする。授業では暗唱や、書き取り、反訳練習などを繰り返し、テキストに基づいて日常的な会話を練習し、会話に必要な文法を理解し、中国語でのコミュニケーション能力をいっそう現実的なものとしたい。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話を身につけて、中国語を使って自己表現ができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分)講義・解説・講評(40分)	
2	自分を紹介する	会話練習と発表
3	自分を紹介する	会話練習と発表
4	自分の家族を紹介する	会話練習と発表
5	自分の家族を紹介する	会話練習と発表
6	自分の趣味を紹介する	会話練習と発表
7	自分の趣味を紹介する	会話練習と発表
8	中国文化の学習	会話練習と発表
9	自分の高校生活を紹介する	会話練習と発表
10	自分の高校生活を紹介する	会話練習と発表
11	自分の故郷を紹介する	会話練習と発表
12	自分の故郷を紹介する	会話練習と発表
13	自分の夢を紹介する	会話練習と発表
14	自分の夢を紹介する	会話練習と発表
15	確認テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート 平常点評価	100 %	出席、宿題、小テストなどの日常的な取り組みは50%、期末の確認テストは50%

各課ごとに単語などの小テストがあるため、予習、復習が必要。
コミュニケーションの授業であるので、積極的に発言することが良い評価につながる。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力の伸びと各回の小テストの成績を重視。
三分の二以上の授業および小テスト参加は単位認定の必須条件である。

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

既習者を対象としているため、初回レベルチェックを行う予定。

(既習者中心のクラスのため、全体のレベルによって内容を若干変更することがある。)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語中級コミュニケーションⅡ (KB)

11253

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国語の「話し・聞き・読み・書く」四技能を、会話力を中心にさらに磨き上げることを目標とする。授業では暗唱や、書き取り、反訳練習などを繰り返し、テキストに基づいて日常的な会話を練習し、会話に必要な文法を理解し、中国語でのコミュニケーション能力をいっそう現実的なものとしたい。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

会話力を身につけて、中国語を使って自己表現ができる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	最近の一日を紹介する	会話練習と発表
2	最近の一日を紹介する	会話練習と発表
3	面白いことを一つ紹介する	会話練習と発表
4	面白いことを一つ紹介する	会話練習と発表
5	好きな映画を一つ紹介する	会話練習と発表
6	好きな映画を一つ紹介する	会話練習と発表
7	中間復習、テスト	
8	中国文化の学習	会話練習と発表
9	好きな本を一冊紹介する	会話練習と発表
10	好きな本を一冊紹介する	会話練習と発表
11	日本の伝統文化を紹介する	会話練習と発表
12	日本の伝統文化を紹介する	会話練習と発表
13	日本の祝祭日を紹介する	会話練習と発表
14	日本の祝祭日を紹介する	会話練習と発表
15	確認テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。
コミュニケーションの授業であるので、積極的に発言することが良い評価につながる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、宿題、小テストなどの日常的な取り組みは50%、期末の確認テストは50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力の伸びと各回の発表の成績を重視。
三分の二以上の授業および小テスト参加は単位認定の必須条件である。

教科書 / Textbooks

プリントを配布する

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語中級表現読解Ⅲ (K)

13546

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解Ⅰを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

レベル的には仏検3級を完全射程に入れます。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランス語中級表現読解Ⅰ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語中級表現読解Ⅰの総復習(1)	
2	フランス語中級表現読解Ⅰの総復習(2)	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	フランス語の受動表現	
8	単純未来	
9	前未来	
10	条件法現在と過去	
11	練習問題	
12	現在分詞とジェロンディフ	
13	接続法現在と過去	
14	練習問題	直説法の過去形から接続法の過去形まで
15	総括講義(30分)・到達度検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	平常点4割、到達度検証テスト6割
三分の二以上の出席と到達度検証テストでのミニマムレベルクリアが不可欠です。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材を配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

中国語中級表現読解Ⅱ (K)

13487

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

テキストによる講読を中心に授業を進める。講読の際文法の復習、基礎固めを目指していねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。授業時に到達度確認の小テストを実施する。暗誦テストも課す。
中国語学習を通して中国への理解を深め、豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 導入	授業の概要と導入(授業内容説明等)
	第2回 第7課「日中関係」	
	第3回 第7課	
	第4回 第8課「魯迅と藤野先生」	
	第5回 第8課	
	第6回 第9課「巴金が井上靖に答える」	
	第7回 第9課	
	第8回 到達度確認	到達度確認小テストとまとめ
	第9回 第10課「陶奇の日記」	
	第10回 第10課	
	第11回 第11課「牛郎織女」	
	第12回 第11課	
	第13回 第12課「成語故事」	
	第14回 第12課	
	第15回 学期末テスト	到達度確認テストおよびまとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業時に確認する発音、文法理解と小テスト、暗誦テスト、提出物、出席状況等により総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は練習問題を提出すれば添削するので、各自積極的に勉強に取り組んでほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
実用中級中国語	郭春貴・郭久美子 / 白帝社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

その他 / Other

拡張項目

英語音声演習2(単位回復)(Z)

12167

担当者名 / Instructor 磯田 貴道

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

TOEIC形式のリスニング練習問題を用いて、自然な速さの英語の聞き取りにおいて気を付けるべき点や、日本語と英語の音の違いなどを解説、練習する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 各ユニットで取り上げられるリスニングの方略を用いることができる
2. 日本語と英語の音の違いを理解し、リスニングに生かすことができる
3. 英語の語彙を増やす

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション, 音声面の解説と練習	
2	unit 1, 2	
3	unit 3, 4	
4	unit 5, 7	
5	unit 8, 9	
6	unit 10, 11	
7	テスト1, 解説と追加練習	
8	unit 13, 14	
9	unit 15, 16	
10	unit 17	
11	テスト2, 解説と追加練習	
12	unit 19, 20	
13	unit 21, 22	
14	unit 23	
15	テスト3, 解説と追加練習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習は求めないが、復習に力を入れることが求められる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席および授業内での課題への取り組み…30% テスト(3回)…70%

この授業における評価はCかFのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業では口頭練習などを行うので、積極的に取り組んでもらいたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Upward Listening for the TOEIC Test	藪越知子・Braven Smillie / 金星堂 / 978-4-7647-3921-5 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語と文化 I (単位回復) (Z1)

12823

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

初級文法とフランスの文化を学ぶ授業です。取り上げる題材は、スケジュールに記すように、多方面にわたります。テキストで問題にされている事項だけでなく、時にはプリントや視聴覚教材を使って、余裕があれば映画なども取り上げます。文法については、始めはフランス語の仕組みを説明し、徐々に基礎と応用の両方に配慮するよう授業を展開することにしています。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

仕組みさえわかれば、フランス語はできるようになります。ゆっくりと文法復習すれば、苦手意識も消えてゆくことでしょう。

フランス語の特徴を理解し、またフランス文化の一端にふれることによって、異文化に興味を抱き、自国との差異について考えるまでの段階に到達してみましょう。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1 イントロダクション「フランスとはどんな国？」	パリの地図、アルファベット、数字、あいさつ
2	2 第一課「フランスに着いた！」	名詞の性・数、冠詞
3	3 第一課つづき	前置詞と冠詞の縮約形
4	4 第二課「ホテルにて」	形容詞(1)、所有形容詞
5	5 第二課つづき	提示の表現
6	6 第三課「アロー、アロー」	形容詞(2)、人称代名詞強勢形
7	7 第三課つづき	Il y a の表現
8	8 第四課「テラスでお茶を」	否定文、指示形容詞
9	9 第四課つづき	avoir + 無冠詞名詞
10	10 第五課「メロに乗ろう」	疑問文
11	11 第五課つづき	非人称構文
12	12 第六課「名所を廻ろう」	近い未来・近い過去
13	13 第六課つづき	疑問形容詞、中性代名詞
14	14 第七課「水を買う」	命令形
15	15 第七課つづき	目的補語となる人称代名詞

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業中に指示します。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、100 % 出席状況、小テスト(数回行います)の結果、授業参加などによって総合的に評価します。
平常点評価

規定により、評価は合格のCか不合格のFのいずれかとなります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

Partir pour Paris

大津俊克ほか／朝日出版社／978-4-255-35203-9／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語中級表現読解 I (K)

13380

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

テキストによる講読を中心に授業を進める。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中各学生の発音をチェックする。小テストを実施し学習確認をする。また暗誦テストも課す。

中国語学習を通して中国への理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあればある程度の文章が読める力を身につけることを到達目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 導入	授業の概要と導入(授業内容説明等)
	第2回 第1課「自己紹介」	
	第3回 第1課	
	第4回 第2課「あなたはなぜ中国語を勉強するの？」	
	第5回 第2課	
	第6回 第3課「どうやって中国語をマスターするのか？」	
	第7回 第3課	
	第8回 到達度確認	到達度確認小テストおよびまとめ
	第9回 第4課「Eメール」	
	第10回 第4課	
	第11回 第5課「慌ただしい！」	
	第12回 第5課	
	第13回 第6課「(詩)明日の歌」	
	第14回 第6課	
	第15回 期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業時に確認する発音、文法理解と小テスト、暗誦テスト、提出物、出席状況等により総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

予習は必須。またテキスト本文には一部ピンインが付いていないので、発音も調べてくること。
検定試験を受けたい学生は練習問題等を提出すれば添削するので、主体的に学習に取り組んでほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
実用中級中国語	郭春貴・郭久美子 / 白帝社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現 I (2A)

10882

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語を母語とする教員が担当する授業です。

受講生は、担当教員との会話、あるいは受講生同士での会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。また、会話だけでなく、フランス語での作文練習も行います。

まずは挨拶や自己紹介からはじめて、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してほしいと思っています。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 挨拶や自己紹介や質疑応答が、フランス語で出来る。
- 2) 簡単なフランス語の文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	挨拶をする, 自己紹介をする	アルファベット, 動詞être / habiter
2	名前を聞く, 名前・職業・国籍を言う	国籍を表す形容詞, 数字1~10
3	人について描写する, 住んでいるところを詳しく言う, 年齢を言う	動詞travailler / connaître, 数字11~20
4	自分のことや他人のことを話す, 職業を聞く	疑問文, er動詞
5	否定する, 質問をする	エリジオン, 否定文, 数字21~30
6	自分や他人の好みについて話す	動詞aimer / adorer / détester
7	意見を言う	動詞faire, 数字31~69
8	家族について話す, 理由を言う, 理由を尋ねる	所有形容詞
9	何かについて肯定的・否定的に話す	日付, 数字60~99
10	物の位置を言う	冠詞, il y a
11	物の位置を聞く, 質問に答える	deを使った所有の表現
12	物を描写する, 物の位置を聞く	色彩を表す形容詞, 否定文での冠詞
13	物の色を聞く, 着ている物について話す	etの使い方, 指示形容詞
14	物の位置関係を言う	devant / derrière / sous
15	フランス語による自己表現	動詞の活用, 形容詞の変化, 語彙力

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れないことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-01112-1 /
教科書を使用しながら会話と作文の練習を行いますので、授業にはかならず携行してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典

クラウン仏和辞典(小型版) /三省堂 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル /旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ /小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語上級コミュニケーション I (K)

11127

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したことからさらに視野を広げるために、フランスの社会、文化等について学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める(フランス語を読む、聞く、話す、書く)。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

仏検3級の取得、あるいは同等の学力を有する学生を対象とする。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
0~1	フランスの地方	フランスの国土
1~2	フランスの地方	各地の特色
2~3	一回目、二回目のまとめ 日本の地理、気候について	p.12の資料
3~4	季節の暮らし、気候	四季の暮らし
4~5	季節の暮らし、気候 家の中で感じる季節	日本との比較 日本の暮らしについてフランス語で発表します(テストになります)
5~6	社会における女性と男性	日本とフランスの社会における男女の役割の相違点
6~7	現代フランス社会の家族のイメージ	家族、カップル、そして子供
7~8	日本とフランスの家族のイメージ	p.66の資料
8~9	日本とフランスの家族のイメージ のまとめ	日本とフランスの家族のイメージの比較について、フランス語で発表します(テストになります)
9~10	フランスの食事	普通の食生活
10~11	食生活、ガストロノミー(美食)	食生活の復習 日本の食生活との比較
11~12	p.35のクイズ、p.36の資料	食生活のまとめ
12~13	フランス人の礼儀と会話のマナー	フランス人のマナー
13~14	日本人の礼儀と会話のマナー	フランス人と日本人のマナーのまとめ
14~15	まとめのテスト	リスニング、書き取りのテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 授業期間中に学習到達度をテスト(3回)で評価する。出席点も考慮する。

平常点評価

仏和辞典が必要。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
La societe francaise	J-L Azra, O Lorillard, B Vannieuwenhuysse, 三木賀雄, 池澤明子, 市川まり子 / alma / 978-4-904147-00-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

フランス語中級コミュニケーション I (K)

11233

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランスの文法基礎の復習をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
0~1	0-1,1,2,授業役立単語、自己紹介	復習、etreの活用
1~2	3,4,5,住まい、アルバイト	仕事について、habiter,travailler の活用
2~3	6,7,8,好きな物、すること	aimer,faire,動詞の現在形 リスニング練習
3~4	テスト	会話のミニテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
4~5	9,10,11,12,家族について	avoir 代名動詞、現在形
5~6	13,14,15,友達について	リスニング練習
6~7	リスニングのテスト	リスニングのテスト(20分)、テスト後の説明・解説(10分) 16,持ち物について
7~8	17,18,持ち物について、欲しい物について	avoir,代名詞 en
8~9	19,20,リスニング練習	リスニング練習 METACOMMUNICATION
9~10	テスト	リスニングのテスト(20分)、テスト後の説明・解説(10分) 20,21,休日の過ごし方
10~11	22,複合過去	複合過去の練習
11~12	23,代名動詞の複合過去	代名動詞の複合過去の練習
12~13	24,25,時間、リスニング練習	リスニング練習、会話練習
13~14	26,27,趣味、生活	会話練習
14~15	テスト	会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト(4回)で評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要である。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe version avancée	J-L Azra, B Vannieuwenhuysse / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現 I (3B)

10014

担当者名 / Instructor SAUZEDDE BERTRAND J.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語を母語とする教員が担当する授業です。

受講生は、担当教員との会話、あるいは受講生同士での会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。また、会話だけでなく、フランス語での作文練習も行います。

まずは挨拶や自己紹介からはじめて、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してほしいと思っています。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 挨拶や自己紹介や質疑応答が、フランス語で出来る。
- 2) 簡単なフランス語の文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	挨拶をする, 自己紹介をする	アルファベット, 動詞être / habiter
2	名前を聞く, 名前・職業・国籍を言う	国籍を表す形容詞, 数字1~10
3	人について描写する, 住んでいるところを詳しく言う, 年齢を言う	動詞travailler / connaître, 数字11~20
4	自分のことや他人のことを話す, 職業を聞く	疑問文, er動詞
5	否定する, 質問をする	エリジオン, 否定文, 数字21~30
6	自分や他人の好みについて話す	動詞aimer / adorer / détester
7	意見を言う	動詞faire, 数字31~69
8	家族について話す, 理由を言う, 理由を尋ねる	所有形容詞
9	何かについて肯定的・否定的に話す	日付, 数字60~99
10	物の位置を言う	冠詞, il y a
11	物の位置を聞く, 質問に答える	deを使った所有の表現
12	物を描写する, 物の位置を聞く	色彩を表す形容詞, 否定文での冠詞
13	物の色を聞く, 着ている物について話す	etの使い方, 指示形容詞
14	物の位置関係を言う	devant / derrière / sous
15	フランス語による自己表現	動詞の活用, 形容詞の変化, 語彙力

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れないことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-01112-1 /
教科書を使用しながら会話と作文の練習を行いますので、授業にはかならず携帯してください。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典

クラウン仏和辞典(小型版) /三省堂 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル /旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ /小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現Ⅱ (3C)

12431

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、フランス語を母語とする教員が担当する授業です。これまで同様、担当教員との会話や受講生同士の会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。前期以上に、多くの会話パターンや文章表現を修得してください。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、会話でも作文でも、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してもらいたいと思います。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話ができる。
- 2) 簡単なフランス語を用いて、明確に自分の意志を伝える文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	前期の復習, 数・量を聞く表現
2	カフェで注文する	Je voudrais(～が欲しいです)
3	市場・パン屋などで買い物をする	代名詞en, 数字100～1000
4	食生活について話す	部分冠詞, 量を表す表現
5	統計について話す, 自分の意見を言う	en+否定形, Il faut(～が必要です)
6	国について話す	地名に付ける前置詞
7	天気を言う	天候を表現するための非人称表現
8	誰が, どこへ, いつ, なぜ, どうやって行くかを言う	動詞aller, en+交通手段
9	道を探ねる	Je voudrais+不定詞, 曜日
10	時刻を言う	ir動詞, 時刻を表現する非人称表現
11	一日にすることを話す	代名動詞, 頻度を言う表現
12	何かを提案する	「～から～まで」という表現, 動詞vouloir
13	誘いを受ける, 断る	動詞pouvoir / devoir
14	一日にしたことを話す	複合過去形, 複合過去形の否定形
15	フランス語による自己表現	時制, 基本構文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れなことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-0112-1 / 前期の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
クラウン仏和辞典(小型版)	／三省堂／／仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ / 小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現Ⅱ (3B)

10091

担当者名 / Instructor SAUZEDDE BERTRAND J.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、フランス語を母語とする教員が担当する授業です。これまで同様、担当教員との会話や受講生同士の会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。前期以上に、多くの会話パターンや文章表現を修得してください。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、会話でも作文でも、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してもらいたいと思います。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話ができる。
- 2) 簡単なフランス語を用いて、明確に自分の意志を伝える文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	前期の復習, 数・量を聞く表現
2	カフェで注文する	Je voudrais(～が欲しいです)
3	市場・パン屋などで買い物をする	代名詞en, 数字100～1000
4	食生活について話す	部分冠詞, 量を表す表現
5	統計について話す, 自分の意見を言う	en+否定形, Il faut(～が必要です)
6	国について話す	地名に付ける前置詞
7	天気を言う	天候を表現するための非人称表現
8	誰が, どこへ, いつ, なぜ, どうやって行くかを言う	動詞aller, en+交通手段
9	道を探ねる	Je voudrais+不定詞, 曜日
10	時刻を言う	ir動詞, 時刻を表現する非人称表現
11	一日にすることを話す	代名動詞, 頻度を言う表現
12	何かを提案する	「～から～まで」という表現, 動詞vouloir
13	誘いを受ける, 断る	動詞pouvoir / devoir
14	一日にしたことを話す	複合過去形, 複合過去形の否定形
15	フランス語による自己表現	時制, 基本構文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れなことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-0112-1 / 前期の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
クラウン仏和辞典(小型版)	／三省堂／／仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ / 小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現Ⅱ (3A)

12279

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、フランス語を母語とする教員が担当する授業です。これまで同様、担当教員との会話や受講生同士の会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。前期以上に、多くの会話パターンや文章表現を修得してください。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、会話でも作文でも、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してもらいたいと思います。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話ができる。
- 2) 簡単なフランス語を用いて、明確に自分の意志を伝える文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	前期の復習, 数・量を聞く表現
2	カフェで注文する	Je voudrais(～が欲しいです)
3	市場・パン屋などで買い物をする	代名詞en, 数字100～1000
4	食生活について話す	部分冠詞, 量を表す表現
5	統計について話す, 自分の意見を言う	en+否定形, Il faut(～が必要です)
6	国について話す	地名に付ける前置詞
7	天気を言う	天候を表現するための非人称表現
8	誰が, どこへ, いつ, なぜ, どうやって行くかを言う	動詞aller, en+交通手段
9	道を探ねる	Je voudrais+不定詞, 曜日
10	時刻を言う	ir動詞, 時刻を表現する非人称表現
11	一日にすることを話す	代名動詞, 頻度を言う表現
12	何かを提案する	「～から～まで」という表現, 動詞vouloir
13	誘いを受ける, 断る	動詞pouvoir / devoir
14	一日にしたことを話す	複合過去形, 複合過去形の否定形
15	フランス語による自己表現	時制, 基本構文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れなことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-0112-1 / 前期の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
クラウン仏和辞典(小型版)	／三省堂／／仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ / 小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現 I (3C)

12349

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語を母語とする教員が担当する授業です。

受講生は、担当教員との会話、あるいは受講生同士での会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。また、会話だけでなく、フランス語での作文練習も行います。

まずは挨拶や自己紹介からはじめて、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してほしいと思っています。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 挨拶や自己紹介や質疑応答が、フランス語で出来る。
- 2) 簡単なフランス語の文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	挨拶をする, 自己紹介をする	アルファベット, 動詞être / habiter
2	名前を聞く, 名前・職業・国籍を言う	国籍を表す形容詞, 数字1~10
3	人について描写する, 住んでいるところを詳しく言う, 年齢を言う	動詞travailler / connaître, 数字11~20
4	自分のことや他人のことを話す, 職業を聞く	疑問文, er動詞
5	否定する, 質問をする	エリジオン, 否定文, 数字21~30
6	自分や他人の好みについて話す	動詞aimer / adorer / détester
7	意見を言う	動詞faire, 数字31~69
8	家族について話す, 理由を言う, 理由を尋ねる	所有形容詞
9	何かについて肯定的・否定的に話す	日付, 数字60~99
10	物の位置を言う	冠詞, il y a
11	物の位置を聞く, 質問に答える	deを使った所有の表現
12	物を描写する, 物の位置を聞く	色彩を表す形容詞, 否定文での冠詞
13	物の色を聞く, 着ている物について話す	etの使い方, 指示形容詞
14	物の位置関係を言う	devant / derrière / sous
15	フランス語による自己表現	動詞の活用, 形容詞の変化, 語彙力

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。

フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れないことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-01112-1 /

教科書を使用しながら会話と作文の練習を行いますので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典

クラウン仏和辞典(小型版) /三省堂 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル /旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ /小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語中級コミュニケーションⅡ (K)

11290

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期からの続きで、基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

前期の授業の復習をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
0~1	夏休みの間、何をしましたか？どこかへ誰かと行きましたか？	22,23の復習、複合過去の復習
1~2	28,29,過去について	会話練習
2~3	29,30,31,過去について	リスニング練習
3~4	リスニングのテスト 32,33,勉強について	リスニングのテスト(20分)、テスト後の説明・解説(10分)
4~5	会話のミニテスト 半過去の練習	会話のミニテスト(60分)、テスト後の説明・解説(10分) 半過去の練習
5~6	34,35,習慣について	リスニング練習
6~7	36,37,環境について	会話練習
7~8	38,39,どのような場所なのかについて	最上級、比較級
8~9	40,リスニングの練習、41,パソコン関係	リスニング練習、会話練習
9~10	リスニングのテスト 42,買いたいものについて	リスニングテスト(20分)、テスト後の説明・解説(10分) 買いたいものについて
10~11	会話のミニテスト 43,お金の使い道	会話のテスト(40分)、テスト後の説明・解説(10分) お金の使い道
11~12	44,45,46,リスニング練習、経験、アドバイスの仕方	リスニング練習、経験、アドバイスの仕方
12~13	カナダのアニメーション映画(木を植えた男)の短編(Jean Giono著)を読み、理解する。 1/3の映画(Frederique Back監督)をみる。	映画の内容を理解する。
13~14	カナダのアニメーション映画(木を植えた男)の短編(Jean Giono著)を読み、理解する。 2/3の映画(Frederique Back監督)をみる。	映画の内容を理解する。
14~15	カナダのアニメーション映画(木を植えた男)の短編(Jean Giono著)を読み、理解する。 映画についてのコメント、討論をする。	映画の内容を理解する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト(4回)で評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversations dans la classe version avancée	J-L Azra, B Vannieuwenhuysse / ALMA / 4-9901072-5-X /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現 I (3A)

12207

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語を母語とする教員が担当する授業です。

受講生は、担当教員との会話、あるいは受講生同士での会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。また、会話だけでなく、フランス語での作文練習も行います。

まずは挨拶や自己紹介からはじめて、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。

高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してほしいと思っています。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 挨拶や自己紹介や質疑応答が、フランス語で出来る。
- 2) 簡単なフランス語の文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	挨拶をする, 自己紹介をする	アルファベット, 動詞être / habiter
2	名前を聞く, 名前・職業・国籍を言う	国籍を表す形容詞, 数字1~10
3	人について描写する, 住んでいるところを詳しく言う, 年齢を言う	動詞travailler / connaître, 数字11~20
4	自分のことや他人のことを話す, 職業を聞く	疑問文, er動詞
5	否定する, 質問をする	エリジオン, 否定文, 数字21~30
6	自分や他人の好みについて話す	動詞aimer / adorer / détester
7	意見を言う	動詞faire, 数字31~69
8	家族について話す, 理由を言う, 理由を尋ねる	所有形容詞
9	何かについて肯定的・否定的に話す	日付, 数字60~99
10	物の位置を言う	冠詞, il y a
11	物の位置を聞く, 質問に答える	deを使った所有の表現
12	物を描写する, 物の位置を聞く	色彩を表す形容詞, 否定文での冠詞
13	物の色を聞く, 着ている物について話す	etの使い方, 指示形容詞
14	物の位置関係を言う	devant / derrière / sous
15	フランス語による自己表現	動詞の活用, 形容詞の変化, 語彙力

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。

フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れないことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-01112-1 /

教科書を使用しながら会話と作文の練習を行いますので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典

クラウン仏和辞典(小型版) /三省堂 / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル /旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ /小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語・表現Ⅱ (2A)

11005

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生前期に引き続いて、フランス語を母語とする教員が担当する授業です。これまで同様、担当教員との会話や受講生同士の会話練習を通じて、フランス語での表現力を身に付けていきます。前期以上に、多くの会話パターンや文章表現を修得してください。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、会話でも作文でも、簡単なフランス語をもちいてコミュニケーションする能力を、獲得してもらいたいと思います。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1) 簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話ができる。
- 2) 簡単なフランス語を用いて、明確に自分の意志を伝える文章を書くことが出来る。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	前期の復習, 数・量を聞く表現
2	カフェで注文する	Je voudrais(～が欲しいです)
3	市場・パン屋などで買い物をする	代名詞en, 数字100～1000
4	食生活について話す	部分冠詞, 量を表す表現
5	統計について話す, 自分の意見を言う	en+否定形, Il faut(～が必要です)
6	国について話す	地名に付ける前置詞
7	天気を言う	天候を表現するための非人称表現
8	誰が, どこへ, いつ, なぜ, どうやって行くかを言う	動詞aller, en+交通手段
9	道を探ねる	Je voudrais+不定詞, 曜日
10	時刻を言う	ir動詞, 時刻を表現する非人称表現
11	一日にすることを話す	代名動詞, 頻度を言う表現
12	何かを提案する	「～から～まで」という表現, 動詞vouloir
13	誘いを受ける, 断る	動詞pouvoir / devoir
14	一日にしたことを話す	複合過去形, 複合過去形の否定形
15	フランス語による自己表現	時制, 基本構文

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

課された宿題は、かならず果たしてから、授業に臨んでください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	授業中に実施するテスト・小テスト、課題、出席状況、受講姿勢などから、総合的に評価します。
フランス語での表現能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

間違いを恐れなことが、外国語学習の秘訣です。フランス語会話上達のために、恥ずかしがらず、積極的に発言しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
フランス語の方法	Vincent DURRENBERGER / 駿河台出版社 / 978-4-411-0112-1 / 前期の教科書を引き続き使用します。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・デコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
クラウン仏和辞典(小型版)	／三省堂／／仏和辞典

プチ・ロワイヤル / 旺文社 / 仏和辞典

プログレッシブ / 小学館 / 仏和辞典

仏和辞典は授業に携行してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

CAMPUS FRANCE (<http://japon.campusfrance.org/>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめ。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

フランス語上級表現読解Ⅱ (K)

13228

担当者名 / Instructor 角谷 美知

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランスの地理、歴史、政治、経済、教育、社会、芸術と文学、フランス人の生活、世界におけるフランスの地位についてまとめられた教材を使い、フランス語の「読む、書く、聞く、話す」の総合力を養成し、同時にフランス語及びフランス語圏の文化、社会への知識を深めていきたい。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

テキストの読解と文法の知識を深め、専門分野についての興味を広めて、読解力を身につけてほしい。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランス語中級読解を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価等
2	第1課:フランスの地理	読解、解説と文法理解
3	第2課:フランスの歴史(1)前半	読解、解説と文法理解
4	第2課と第3課:フランスの歴史(1)後半とフランスの歴史(2)前半	読解、解説と文法理解
5	第3課:フランスの歴史(2)後半	読解、解説と文法理解
6	第4課:フランスの政治	読解、解説と文法理解
7	第5課:フランスの教育	読解、解説と文法理解
8	第6課:フランスの経済	読解、解説と文法理解
9	第7課:フランスの芸術と文学(前半)	読解、解説と文法理解
10	第7課:フランスの芸術と文学(後半)	読解、解説と文法理解
11	第8課:フランスの社会	読解、解説と文法理解
12	第9課:フランス人の生活	読解、解説と文法理解
13	第10課:世界におけるフランスの地位	読解、解説と文法理解
14	総復習	フランスについての理解力のまとめ
15	検証テスト(60分)と解説	理解度確認

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

学習するテーマ及びフランスに関するニュース、記事、書物にも関心をもって理解を深めてほしい。又、テレビ・ラジオのフランス語講座も積極的に活用して、聞き取り、コミュニケーション能力の向上に努めてほしい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席と発表 20%、2/3以上の出席が必要。 検証テストを行い、80%を配点。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

フランス及びフランス語圏の社会、文化についての読書、新聞、ニュース等に関心を持ってほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
現代フランスの基礎知識(改訂版)	ドラトーザン(編者 三浦信孝) / 白水社 / 978-4-560-01175-1 C3085 /

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

特になし

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

月曜の5時限に質問があれば文学部事務室に申し出ること。

その他 / Other

なし

拡張項目

中国語上級コミュニケーション I (K)

11093

担当者名 / Instructor 黄麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業はこれまで学んだ中国語のさまざまな表現を土台に、コミュニケーションの力をさらにレベルアップすることを目標とします。リスニングおよび会話を中心に、読解力の向上も図ります。就職活動に役立つ実用型の授業を目指します。中国語検定試験の「3級」から「2級」程度の授業です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

◎ 会話力、リスニング力の向上。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 レベルチェック	授業説明、学習要領、注意事項など
	第2回 第1課「“80後”と“90”後」 要点、会話文	本文の読解
	第3回 本文による実用会話の練習、リスニングなど	第2課「現代の大学生」 要点、会話文
	第4回 本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
	第5回 第3課「若者と住宅問題」 要点、会話文	本文の読解
	第6回 本文による実用会話の練習、リスニングなど	第4課「中国人とお金」 要点、会話文
	第7回 本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
	第8回 第1課～第4課の復習 小テスト	第5課「金持ちだから豊かとはかぎらない」 要点、会話文
	第9回 本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
	第10回 第6課「中国人の面子」 要点、会話文	本文の読解
	第11回 本文による実用会話の練習、リスニングなど	第7課「あるハーリー族」 要点、会話文
	第12回 本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
	第13回 第8課「代購」 要点、会話文	本文の読解
	第14回 本文による実用会話の練習、リスニングなど	総合練習
	第15回 総復習	テスト ※進度は受講者のレベルにより調整する場合があります。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

◎ 単語の暗記に努力すること。

◎ ピンインや声調の「正確さ」に心がけること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 出席、宿題などの日常的な取り組みが50%、小テスト、確認テストが50%。
平常点評価

語学学習は地道な努力が必要です。例文や単語の暗記は不可欠です。そのつもりで取り組んでください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この授業は隣同士の会話の練習を重視し、明るく和気藹々の授業を目指します。積極的な受講を願っています。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

ときめき中国

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

池上 貞子他著 / 朝日出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

人民日報ネット <http://www.people.com.cn/>ヤフー中国 <http://cn.news.yahoo.com/>新浪 <http://www.sina.com.cn/>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級表現読解Ⅲ (K)

13489

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
2	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
3	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
4	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
5	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
6	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
7	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
8	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
9	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
10	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
11	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
12	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
13	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
14	リスニング⑭、表現⑭、単語テスト⑭、読解⑭	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト 30% 出席、発表、小テスト 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。

また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級表現読解Ⅳ (K)

10630

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習 動詞の現在人称変化(1)	
3	文法の復習 主語になる代名詞	
4	文法の復習 平叙文と疑問文	
5	文法の復習 名詞と冠詞	
6	文法の復習(名詞の性と複数形)	
7	文法の復習 動詞の現在2・命令	
8	文法の復習 定冠詞der	
9	文法の復習 dieser型(定冠詞類)	
10	文法の復習 不定冠詞einとmein型(不定冠詞類)	
11	文法の復習 否定文	
12	文法の復習 動詞の現在人称変化(2)	
13	文法の復習 命令形	
14	文法の復習 人称代名詞の3格と4格	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験) 60点 出席、発表など 40点

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要とされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、

合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書およびテキストを持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

素朴なぞもんからわかるドイツ文法

高田博行 / 郁文堂 / 9784261072945 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級表現読解 I (K)

13379

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
	2 リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①、クロスワードパズル①	
	3 リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②、クロスワードパズル②	
	4 リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③、クロスワードパズル③	
	5 リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④、クロスワードパズル④	
	6 リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤、クロスワードパズル⑤	
	7 リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥、クロスワードパズル⑥	
	8 リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦、クロスワードパズル⑦	
	9 リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧、クロスワードパズル⑧	
	10 リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨、クロスワードパズル⑨	
	11 リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩、クロスワードパズル⑩	
	12 リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪、クロスワードパズル⑪	
	13 リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫、クロスワードパズル⑫	
	14 リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬、クロスワードパズル⑬	
	15 総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)30% 出席、発表、小テストなど 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。

また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書(月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」)を履修する人はテキスト「素朴なぎもんからわかるドイツ文法」を持参のこと。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語上級表現読解Ⅱ (K)

13142

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。独検で過去に出題された問題も授業内で取り上げる。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

独検2級合格程度。さらに準1級合格を目指すための基礎学力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
	2 読解①、文法の復習①、リスニング①	
	3 読解②、文法の復習②、リスニング②	
	4 読解③、文法の復習③、リスニング③	
	5 読解④、文法の復習④、リスニング④	
	6 読解⑤、文法①、リスニング⑤	
	7 読解⑥、文法②、リスニング⑥	
	8 読解⑦、文法③、リスニング⑦	
	9 読解⑧、文法④、リスニング⑧	
	10 読解⑨、文法⑤、リスニング⑨	
	11 読解⑩、文法実践問題①、リスニング⑩	
	12 読解⑪、文法実践問題②、リスニング⑪	
	13 読解⑫、文法実践問題③、リスニング⑫	
	14 読解⑬、文法実践問題④、リスニング⑬	
	15 検証テスト(60分)、統括講義(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表など 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

要望があれば単語テスト、熟語テストなどの小テストを実施します。また、授業の中でドイツ映画を鑑賞する時間を設ける予定です。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語上級表現読解 I (K)

11675

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

このクラスでは日常のドイツ語表現に即した言い回しを学びつつ、特に読み書きに重点を置いて取り組む。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

これまでの Semester で習ったことを確認しつつ、様々な事態をドイツ語によって分節化し、表現する仕方を習得する。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回 授業の進め方と成績評価の仕方を説明	ガイダンス
2	第2回 Lek.1 ~がある/いる	Klopfen-wozu?
3	第3回 Lek.2 接続法の表現	Deutsche und Geraeusche
4	第4回 Lek.3 造語法・序数と分数	Sind Deutsche geizig?
5	第5回 Lek.4 過去分詞の形容詞用法	Deutscher Witz
6	第6回 Lek.5 比較・従属接続詞	Jeder bezahlt fuer sich
7	第7回 Lek.6 動詞の不定詞	Essen die Deutschen Sandwiches?
8	第8回 Lek.7 訳しにくい動詞と名詞	Zeitgefuehl der Deutschen
9	第9回 Lek.8 文の構造・接続法	Konservativ oder Progressiv
10	第10回 Lek.9 機能動詞	Wo sitzt der Gast?
11	第11回 Lek.10 動詞の名詞化・指示代名詞	Wie kommt man zu seinem Platz,wenn man zu spaet kommt?
12	第12回 Lek.11 定関係代名詞	Leicht benutzbare Ausdruecke und schwer benutzbare Ausdruecke
13	第13回 Lek.12 過去分詞の副詞用法	Man kann nicht immer arbeiten
14	第14回 まとめ	
15	第15回 検証テスト(60分)、解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 授業内容の理解度を確保する小テスト、提出課題、出席状況によって総合的に評価する。
 平常点評価

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

新・ドイツ語読みかた教室 中級表現練習読本 大谷弘道/大谷ウルズラ/三修社/978-4-384-13088-1 C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級表現読解Ⅴ (K)

10656

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要なとされるレベルの文法の習得を目指します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習	
2	文法の復習(zu不定詞)	
3	文法の復習 非人称のes	
4	文法の復習 前置詞	
5	文法の復習 再帰動詞	
6	文法の復習 不定詞句・zu不定詞句	
7	文法の復習 動詞の3基本形	
8	文法の復習 過去人称変化	
9	文法の復習 現在完了形	
10	文法の復習 話法の助動詞と未来形	
11	文法の復習 分離動詞と非分離動詞	
12	文法の復習 従属接続詞, 間接疑問文	
13	文法の復習 関係代名詞・指示代名詞	
14	文法の復習 受動態	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。

また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要なとされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。

月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。

ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

素朴なぞもんからわかるドイツ文法

高田博行 / 郁文堂 / 9784261072945 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語と文化 I (単位回復) (Z1)

11314

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかった朝鮮語の基本文法を学び直し、平易な文章を読めるようになる。朝鮮語圏の文化について理解する。
 毎回、授業の前半は朝鮮語を学習し、授業の後半は朝鮮の文化について学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2. 基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンスと朝鮮語に関する一般知識	授業の説明、評価方法など
2	ハングルの理解1	母音と複合母音
3	ハングルの理解2	子音(初音)
4	ハングルの理解3	子音(終音)
5	終結語尾の作り方と用言	
6	終結語尾の作り方と用言、さまざまな名詞	
7	活用形1	
8	活用形2	
9	活用形3	
10	特殊語幹と変格活用用言	
11	特殊語幹と変格活用用言	
12	形容詞の連体形	
13	動詞の連体形	
14	文法のまとめ	
15	到達度確認テスト(60分)解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終講義で実施する試験 : 40% 確認テスト・小テスト(複数回) : 60%
このクラスの成績評価はC・Fのみである		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ゼロからスタート韓国語 文法編	鶴見 ユミ/Jリサーチ出版 / ISBN978-4-901429-33-7 CC0087 /

授業内容に沿ってプリントを配布することもある。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /
『基礎から学ぶ朝鮮語』	梁貞模・盧載玉 / 私家版 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語と社会Ⅱ(単位回復)(Z1)

12838

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかった朝鮮語の基本文法を学び直し、平易な会話表現を身につける。朝鮮語圏の社会について、とりわけ現代の韓国社会が抱える諸問題を事例にして、日本との同時代性やその問題の背景にある思考方式を理解する。

毎回、授業の前半は朝鮮語を学習し、授業の後半は朝鮮の社会について学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 朝鮮語と朝鮮の社会について基礎的知識を身に付けること。
2. 基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンスと朝鮮語に関する一般知識	授業の説明、評価方法など
2	ハングルの理解1	母音と複合母音
3	ハングルの理解2	子音(初音)
4	ハングルの理解3	子音(終音)
5	あいさつの基本と自己紹介	
6	約束	
7	電話	
8	食事とショッピング	
9	空港・機内	
10	ホテル	
11	観光	
12	トラブル	
13	病院	
14	日本を紹介	
15	到達度確認テスト(60分)解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	最終講義で実施する試験: 40% 確認テスト・小テスト(複数回): 60%
このクラスの成績評価はC・Fのみである		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ゼロからスタート韓国語 会話編	鶴見 ユミ / Jリサーチ出版 / ISBN978-4-901429-45-0 CC0087 /
授業内容に沿ってプリントを配布することもある。	

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉 / 新幹社 / 4-88400-055-2 /
『基礎から学ぶ朝鮮語』	梁貞模・盧載玉 / 私家版 / /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

英語音声演習1(単位回復)(Z)

10633

担当者名 / Instructor 磯田 貴道

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

英語でのリスニングやスピーキングの力を伸ばすために、日本人が苦手とする英語の音声の特徴(例えばlとrの違い, fやthなど日本語にない音, アイウエオの違い, イントネーションなど)に焦点を当て、日本語と英語の違いを解説し、聞き取りや発音の練習などを行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・授業で取り上げる音について、日本語と英語の違いを理解できる
- ・授業で取り上げる音を自分で発音できる
- ・授業で取り上げる音の聞き取りができる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション, unit 1	
2	unit 2	
3	unit 3	
4	unit 4	
5	unit 5	
6	unit 6	
7	unit 7	
8	テスト1, 解説と追加練習	
9	unit 8, 9	
10	unit 10, 11	
11	unit 12	
12	unit 13	
13	unit 14	
14	unit 15	
15	テスト2, 解説と追加練習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習は求めないが、復習に力を入れることが求められる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席および授業内での課題への取り組み…30% テスト(2回)…70%

この授業における評価はCかFのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業では発音のチェックや口頭練習を行うので、積極的に取り組んでもらいたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
English Sounds, English Minds	杉森幹彦・大塚朝美・杉森直樹・Paul Evans / 金星堂 / 978-4-7647-3938-3 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

英語特別講義(単位回復)(Z5)

10661

担当者名 / Instructor 磯田 貴道

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

英語力を総合的に高めることを目指し、多様なトピックに関する英文を用いて、読む活動、または聞く活動から始め、語彙等を学習する活動を行い、時間が許す限り英語で書く活動を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 教科書に出てくる語彙や表現等の意味が分かる
2. 教科書に出てくる語彙や表現などを用いて、文章を書くことができる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション, unit 1	
2	unit 2	
3	unit 3	
4	unit 4	
5	テスト1, 解説と追加練習	
6	unit 5	
7	unit 6	
8	unit 7	
9	unit 8	
10	テスト2, 解説と追加練習	
11	unit 9	
12	unit 10	
13	unit 11	
14	unit 12	
15	テスト3, 解説と追加練習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業内で出ず課題を完成させ、次の授業で提出することが求められる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席…15% 課題…15% テスト(3回)…70%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Interactive English Book for Reading (Book 2)	内田雅克・John Di Stefano・Randy Nelms・豊嶋美由紀／松柏社／978-4-88198-667-7／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

英語特別講義(単位回復)(Z3)

13578

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

映画に出てくる簡単な日常会話の表現を聞き取り理解することを通して基礎的な英語力を身につける。米国社会が抱える社会問題を題材として扱う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常よく使う英語の表現を映画から学び、リスニング力をつける。大学卒業までに最低限身につけておきたい英語運用能力を補強する。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Class Guidance 履修に関わる重要要件の説明	Introduction
2	"Fahrenheit 911" アメリカ人の戦争(その1)	American War
3	"Fahrenheit 911" アメリカ人の戦争(その2)	American War
4	"Fahrenheit 911" アメリカ人の戦争(その3)	American War
5	"Fahrenheit 911" アメリカ人の戦争(その4)	American War
6	"Bush" "The Hurt Locker" アメリカ人の戦争(その5)	American War
7	"Bush" "The Hurt Locker" アメリカ人の戦争(その6)	American War
8	8回目 前半の内容に関する総括とまとめ 中間テスト実施 解答と解説	Summary and review of the first half of the course Mid Term Examination Answer and Explanation
9	"Enron" 米国のビジネス文化と巨大企業の破綻(その1)	Business Culture and Bankruptcy of the Large Corporation
10	"Enron" 米国のビジネス文化と巨大企業の破綻(その2)	Business Culture and Bankruptcy of the Large Corporation
11	"Enron" 米国のビジネス文化と巨大企業の破綻(その3)	Business Culture and Bankruptcy of the Large Corporation
12	"Milk" 同性愛者の群像(その1)	Homosexuality in US society
13	"Milk" 同性愛者の群像(その2)	Homosexuality in US society
14	"Milk" 同性愛者の群像(その3)	Homosexuality in US society
15	15回目 後半の内容に関する総括とまとめ 期末試験実施 解答と解説	Summary and review of the last half of the course Final examination Answer and Explanation

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	第8週と15週に行われるテスト 40% 出席、授業の中で書いて提出してもらう提出物などの平常点30% 授業の内容に関する簡単なエッセイ(英語)30%
欠席が1/3を超えた場合、試験や平常点の評価にかかわらず、自動的にFとなる。 このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

1回目の授業は履修の要件を説明するので必ず出席すること。
「立命館大学授業に関する規程」に定めるもののみを公欠扱いにします。
病気・けが、就職活動、体育会やクラブ活動(試合、遠征を含む)は公欠扱いにはしません。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

英語特別講義(単位回復)(Z2)

12809

担当者名 / Instructor 磯田 貴道

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

英語力を総合的に高めることを目指し、多様なトピックに関する英文を用いて、読む活動、または聞く活動から始め、語彙等を学習する活動を行い、時間が許す限り英語で書く活動を行う。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. 教科書に出てくる語彙や表現等の意味が分かる
2. 教科書に出てくる語彙や表現などを用いて、文章を書くことができる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	オリエンテーション, unit 1	
2	unit 2	
3	unit 3	
4	unit 4	
5	テスト1, 解説と追加練習	
6	unit 5	
7	unit 6	
8	unit 7	
9	unit 8	
10	テスト2, 解説と追加練習	
11	unit 9	
12	unit 10	
13	unit 11	
14	unit 12	
15	テスト3, 解説と追加練習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業内で出す課題を完成させ、次の授業で提出することが求められる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席…15% 課題…15% テスト(3回)…70%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Interactive English Book for Reading (Book 1)	内田雅克・John Di Stefano・Randy Nelms・豊嶋美由紀／松柏社／978-4-88198-666-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語と文化 I (単位回復) (Z1)

12822

担当者名 / Instructor 小都 晶子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の発音および文法事項を確認するとともに、視聴覚資料なども用いて中国の文化について講義します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- (1) 中国語の発音表記(ピンイン)や簡体字に習熟し、基礎的な中国語運用能力を習得する。
- (2) 中国の文化を理解するための基礎的な知識を習得する。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、入門	授業の内容と方法、成績評価の方法
2	発音1	声調、単母音
3	発音2	子音、複合母音
4	発音3	-n、-ngをともなう母音、声調の組み合わせ、轻声など
5	第1課	人称代名詞、“是”の文(1)、文末の“吗”
6	第2課	自己紹介、「これ・それ・あれ」の言い方、“的”、疑問詞“什么”、よく使われる呼称
7	第3課	形容詞の文、“还是”、“不太”、“怎么样”
8	第4課	“是”の文(2)、数のかぞえ方、月・日・曜日の言い方
9	第5課	動詞の文、進行を表わす“在”、時刻の言い方、“的”の省略、軽い疑問の“呢”
10	第6課	“有”、“在”、“这儿”、“那儿”、“哪儿”、場所の言い方
11	第7課	“想”、“请”、反復疑問、“太～了”、量詞
12	第8課	“会”、“喜欢”、“一点儿”
13	第9課	“过”、“好”、“有点儿”
14	第10課	料理を注文する慣用句、“为”、“祝”
15	授業のまとめと到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind 割合 / Percentage 評価基準等 / Grading Criteria etc.

上記以外の試験・レポート、 100 % 複数回の小テストおよび学期末の到達度検証テストによって評価します。
 平常点評価

授業の進度は、受講生の数や理解度によって変化することがあります。
 このクラスの成績評価はC・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書およびノートを準備してください。
 授業に専念することとし、私語は厳禁します。

教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
 《新版》中国語10課 方如偉・王智新・鎧屋一 / 白水社 / 978-4-560-06907-3 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

基本朝鮮語(単位回復) (A)

12145

担当者名 / Instructor 金 恵玉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法を基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深めます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

まずは文字から学び、ハングルが読めるようにします。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国の映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

朝鮮語の初級テキストを復習しておく必要があります。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1 授業の概要・文字と発音①	授業の進め方、レベルチェック
2	2 文字と発音②	母音・子音・パッチム
3	3 文字と発音③	母音・子音・パッチム
4	4 発音の変化	パッチムの発音変化
5	5 指定詞・指示詞	～だ、～です、～ではありません、助詞
6	6 丁寧形①(ハムニダ体)	～します、～ます、助詞
7	7 疑問詞・存在詞	～あります・います、何、どこ、韓国の食事作法
8	8 丁寧形②(ヘヨ体Ⅰ)	秋夕とお正月
9	9 丁寧形③(ヘヨ体Ⅱ)	韓国の食文化
10	10 用語の変則活用	祝日と記念日
11	11 過去形①	キャンパスライフ
12	12 過去形②	教育制度と大学入試
13	13 接続語尾	韓国の交通
14	14 数詞	漢数詞・固有数詞
15	15 到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

授業内容をより理解するためには、テキストの予習、復習してください。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト: 50% 課題提出・小テスト: 30% 出席と授業態度: 20%

このクラスの成績評価はC・Fのみであります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・毎日予習・復習をすること
- ・授業への積極的な参加が必要です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

基礎から学ぶ朝鮮語

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

梁貞模・盧載玉 / 私家版 / 生協で販売

資料プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考資料を配布します。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語と社会 I (単位回復) (Z1)

11309

担当者名 / Instructor 関根 真保

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、中国語の基礎である発音を重点的に学びつつ、基本的な文法や語彙も学習していく。
また、映像資料などを用いて、現代中国の社会や文化について考え、理解する力を育成する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・ピンインが正確に読めるようになること。
- ・簡体字が書けるようになり、語彙や文法を含めた中国語運用能力の基礎を習得すること。
- ・中国文化の理解に必要な基礎的知識を習得し、視野を広げること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要説明/発音(1)/中国語に関する講義	声調、単母音
2	発音(2)/中国語に関する講義	子音
3	発音(3)/中国語に関する講義	複母音、鼻音
4	第6課/中国語に関する講義	ピンインの復習、挨拶表現
5	第7課/中国語に関する講義	人称代名詞、基本語順、疑問文、否定文
6	第8課/中国語に関する講義	名前の聞き方と答え方
7	第9課/中国語に関する講義	指示代名詞、疑問詞の用法
8	第10課/中国語に関する講義	連体修飾、副詞の用法
9	第11課/中国語に関する講義	動詞と目的語の組み合わせ
10	第12課/中国語に関する講義	所有の表現
11	第13課/中国語に関する講義	存在の表現
12	第14課/中国語に関する講義	日付の言い方
13	第15課/中国語に関する講義	時間の言い方
14	第15課までの復習/中国語に関する講義	発音や文法の確認
15	授業のまとめ/検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・毎回の講義内容に関する小レポート(50%) ・学習到達度を確認する検証テスト(50%)
・授業スケジュールについては、履修者の数や理解度などによって変更されることがある。 ・成績評価はC・Fのみ。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・指定教科書は、初回の授業に持参できるよう、事前に購入しておくこと。
- ・ニュースを見るなどして、常に中国に関心を持って情報を集め、これを講義に活かすことをすすめる。
- ・授業中は真摯な態度で学習に専念することを強く求める。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
初級中国語教科書+ドリル	小川郁夫 / 白帝社 / 978-4-86398-108-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

基本的には本人が教室へ来て、直接教員に申し出ること。やむを得ない場合は他の受講生を介してもよいが、その場合も事後に必ず本人が教室に来て事情を説明すること。

その他 / Other

拡張項目

中国語と文化Ⅱ(単位回復)(Z1)

12845

担当者名 / Instructor 杉本 史子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の基本的な発音・文法・単語を学習する。また語学の学習を通して、中国の文化も同時に学ぶ。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. ピンインを正確に読めるようにする。
2. 簡体字を正確に書けるようにする。
3. 簡単な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要説明	
2~3	発音編	
4	第一課	
5	第二課	
6	第三課	
7	第四課	
8	授業のまとめ・中間テスト	
9	第五課	
10	第六課	
11	第七課	
12	第八課	
13	第九課	
14	第十課	
15	授業のまとめ・期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート 平常点評価	100 %	・平常点(出席・発言・授業態度) ・授業中の提出物(プリント・小テスト) ・中間、期末のテスト

授業の進度は、受講生の数や理解度によって変化することもある。
 成績は「C」か「F」の二つだけである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

出席重視です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
鈴木君の中国生活	柴格朗／駿河台出版社／978-4-411-03079-5／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語と社会 I (単位回復) (Z1)

12813

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法を基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深める。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

まずは文字からです。ハングルが読めるようになります。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国のドラマや映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要、文字と発音①	【キーワード】授業の進め方、レベルチェック
2	文字と発音②	【キーワード】母音・子音・パッチム
3	文字と発音③	【キーワード】母音・子音・パッチム
4	発音の変化	
5	指定詞・指示詞	
6	丁寧形①(ハムニダ体)	
7	疑問詞・存在詞	【キーワード】韓国の食事作法
8	丁寧形②(ヘヨ体 I)	【キーワード】韓国映画鑑賞
9	丁寧形③(ヘヨ体 II)	秋夕とお正月
10	用語の変則活用	祝日と記念日
11	過去形①	キャンパスライフ
12	過去形②	教育制度と大学入試
13	接続語尾	韓国常識クイズ
14	数詞	漢数詞・固有数詞
15	到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト: 40% 日常点(文型応用の作文の提出・小テスト): 30% その他(出席と授業態度): 30%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。
特別な事情以外に5回以上欠席は認めない。

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

資料プリントを配布します。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

kiminhee@fc.ritsumei.co.jp

kiminheejp@yahoo.co.jp

その他 / Other

拡張項目

基本ドイツ語(単位回復)(A)

11307

担当者名 / Instructor 村田 佳隆

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語の基礎を習得し直すためのクラス。アルファベットからやり直して、ドイツ語初級文法の確認と習得を目指す。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語検定試験4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	アルファベット、発音(1)
2	Lektion1	発音(2)、人称代名詞。
3	Lektion1	発音(3)、現在人称変化、語順。
4	第1回検証テストと解説。Lektion2	名詞の性と格(1)。
5	Lektion2	名詞の性と格(2)、冠詞。
6	Lektion2	不規則動詞、名詞の格。
7	第2回検証テストと解説。Lektion3	不規則動詞。
8	Lektion3	不規則動詞、代名詞、命令形、非人称。
9	第3回検証テストと解説。Lektion4	名詞の複数形。
10	Lektion4	冠詞類。
11	第4回検証テストと解説。Lektion5	前置詞。
12	Lektion5	前置詞。
13	第5回検証テストと解説。Lektion6	話法の助動詞。
14	Lektion6	未来形、接続詞、副文。
15	最終検証テストと解説。	最後の確認。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	平常の授業に対する日常的な取り組みと、各課ごとの6回の検証テストを総合して評価する。
このクラスの成績評価は、C、Fのみです。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検証テストの日程は授業進度によって変更される可能性があります。注意すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイチュ ブラウヴォ! プラスアルファ	小野、中川、西巻 / 朝日出版社 / 978-4-255-25310-7 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

基本ドイツ語(単位回復)(B)

11318

担当者名 / Instructor 村田 佳隆

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語の基礎を習得し直すためのクラス。アルファベットからやり直して、ドイツ語初級文法の確認と習得を目指す。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ語検定試験4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	アルファベット、発音(1)
2	第0課	発音(2)、人称代名詞。
3	第1課	発音(3)、現在人称変化、疑問詞。
4	第1回検証テストと解説。第2課	現在人称変化。
5	第3課	名詞の性と格、語順、名詞の複数形。
6	第2回検証テストと解説。第4課	不定冠詞。
7	第4課	冠詞類。
8	第5課	不規則動詞、名詞の格、疑問詞。
9	第3回検証テストと解説。第6課	不規則動詞。
10	第6課	人称代名詞、非人称。
11	第7課	前置詞。
12	第4回検証テストと解説。第8課	数字と時刻。
13	第8課	話法の助動詞。
14	第9課	分離動詞、命令形。
15	第5回検証テストと解説。	最後の確認。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	平常の授業に対する日常的な取り組みと、2課ごとの計5回の検証テストを総合して評価する。
このクラスの成績評価は、C、Fのみです。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検証テストの日程は授業進度によって変更される可能性があります。注意すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語インフォメーションneu2	秋田 他 / 朝日出版社 / 978-4-255-25358-9 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語と社会Ⅱ(単位回復)(Z1)

11320

担当者名 / Instructor 関根 真保

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、中国語の基礎である発音を重点的に学びつつ、基本的な文法や語彙も学習していく。
また、映像資料などを用いて、現代中国の社会や文化について考え、理解する力を育成する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・ピンインが正確に読めるようになること。
- ・簡体字が書けるようになり、語彙や文法を含めた中国語運用能力の基礎を習得すること。
- ・中国文化の理解に必要な基礎的知識を習得し、視野を広げること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要説明/発音(1)/中国語に関する講義	声調、単母音
2	発音(2)/中国語に関する講義	子音
3	発音(3)/中国語に関する講義	複母音、鼻母音
4	第1課/中国語に関する講義	人称代名詞、基本語順、否定文
5	第2課/中国語に関する講義	反復疑問文、連体修飾
6	第3課/中国語に関する講義	名前の聞き方と答え方
7	第4課/中国語に関する講義	所有の表現
8	第5課/中国語に関する講義	目的語の種類、疑問詞の用法
9	第6課/中国語に関する講義	数量の表現
10	第7課/中国語に関する講義	形容詞述語文
11	第8課/中国語に関する講義	存在の表現
12	第9課/中国語に関する講義	前置詞の用法
13	第10課/中国語に関する講義	“了”の用法
14	第10課までの復習/中国語に関する講義	発音や文法の確認
15	授業のまとめ/検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・毎回の講義内容に関する小レポート(50%) ・学習到達度を確認する検証テスト(50%)
・授業スケジュールについては、履修者の数や理解度などによって変更されることがある。 ・成績評価はC・Fのみ。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

- ・指定教科書は、初回の授業に持参できるよう、事前に購入しておくこと。
- ・ニュースを見るなどして、常に中国に関心を持って情報を集め、これを講義に活かすことをすすめる。
- ・授業中は真摯な態度で学習に専念することを強く求める。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
これならわかる中国語・初級	守屋宏則・柴森 / 同学社 / 978-4-8102-0757-6 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

基本的には本人が教室へ来て、直接教員に申し出ること。やむを得ない場合は他の受講生を介してもよいが、その場合も事後に必ず本人が教室に来て事情を説明すること。

その他 / Other

拡張項目

基本朝鮮語(単位回復) (B)

12170

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法の基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国の社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深める。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

まずは文字からです。ハングルが読めるようになります。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国のドラマや映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要・文字と発音	【キーワード】あいさつ言葉
2	文字と発音1	
3	文字と発音2	
4	発音の変化	
5	指定詞、指示詞	【キーワード】朝鮮語の概要
6	漢数詞	【キーワード】朝鮮半島について
7	固有数詞	【キーワード】自己紹介文を書く
8	存在詞	【キーワード】韓国の食事作法
9	否定形	韓国映画
10	勧誘の表現	韓国映画
11	意志や推量を表す表現	【キーワード】韓国人の感情表現
12	一日の行動	【キーワード】韓国の教育・大学入試事情
13	尊敬形	【キーワード】韓国と朝鮮の政治
14	変則用言	
15	到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	検証テスト: 40 % 日常点(課題・小テスト): 30% その他(出席と授業態度): 30%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。特別な事情以外に5回以上欠席は認めない。

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

kiminhee@fc.ritsumei.co.jp

kiminheejp@yahoo.co.jp

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語と社会 I (単位回復) (Z1)

12812

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、ドイツ語の社会や文化を紹介する授業です。

授業時間の内わけは、

授業の前半――教科書を使っての授業時間その1。
 社会の時間――ドイツZDFのニュース、ドイツ観光案内、ドイツの歌謡曲の紹介。

授業の後半――教科書を使っての授業時間その2。
 文化の時間――オペラ(ワグナーの作品)を見てもらいます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- 1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
 そのために、テキストは自習のできる本を選びました。
- 2、ドイツの歌を、一つ覚える。
 小テストの一つは、歌を暗唱するというものです。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特に無し

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で22章です。はじめの易しい頃は一回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って一回の授業で1章進む、というペースになると思います。	
1	1 1章、動詞の人称変化。2章、名詞の性。	
2	2 3章、名詞と冠詞の格変化。4章、不規則な人称変化。	
3	3 5章、前置詞の格変化。6章、後順。	
4	4 7章、並列接続詞と従属接続詞。8章、名詞の複数形。	
5	5 9章、冠詞類の格変化。10章、形容詞の格変化。	
6	6 11章、分離動詞。12章、話法の助動詞。	
7	7 13章、人称代名詞と再起代名詞。14章、命令形。	
8	8 15章、過去形。16章、過去分詞の作り方。	
9	9 17章、完了時制。	
10	10 18章、受動文。	
11	11 19章、zu不定詞。	
12	12 20章、比較表現。	
13	13 21章、関係文。	
14	14 22章、接続法。	
15	15 検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならないものについて、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

このクラスの成績評価は、C・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ゼロからはじめるドイツ語』	在間進 / 三修社 / 978-4-384-00710-7 / 自分の力でドイツ語が習得できます

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

インタラクティブシート / Interactive Sheet

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
図書館の視聴覚ルームにもたくさんのドイツのビデオがありますから、
ぜひ見てみて下さい。

拡張項目

中国語中級コミュニケーション I (KA)

11199

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

今まで習った基礎文法、日常会話を復習しながら、テキストを従って進めていきます。
更に発音、聴力を重視し、初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

会話力の向上を目標とする。
留学など現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分)講義・解説・講評(40分)	
2	自己紹介と発音チェック	声調、会話練習と発表
3	計画を立てる。(願望助動詞)	声調、会話練習と発表
4	今何してる。(進行形)	声調、会話練習と発表
5	友達と旅行に行った。(“了”の使い方)	声調、会話練習と発表
6	航空券を予約する。(“把”の使い方)	声調、会話練習と発表
7	中国語で返事する。(原因、結果、必須条件の文型)	声調、会話練習と発表
8	手続きをする。(様態、結果、可能補語)	声調、会話練習と発表
9	空港で迎える(使役、受身)	声調、会話練習と発表
10	人々はみんな親切だ。(持続形と形容詞の疑問文)	会話練習と発表
11	お店で眼鏡を修理してもらおう。(呼応関係)	声調、会話練習と発表
12	トラブルの一日(副詞の活用)	声調、会話練習と発表
13	バスの乗り換え(手段の疑問文)	声調、会話練習と発表
14	道を尋ねる。(“多”の使い方)	声調、会話練習と発表
15	テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは40%、小テスト、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎日30分以上復習、予習すること。
本文と単語を暗記すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「応用Ⅰ」に続いてこの「応用Ⅱ」で、ドイツ語のスキルをさらに発展させましょう。
授業の仕方は、基本的に前期と同じです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

簡単なテキストなら、辞書を引いて自分で理解できるようになる。
簡単なテレビのニュースなら、聞いて分かるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1 文法の復習、その1	ニュース「アウシュヴィッツ解放、記念式典」その1 (ホロコーストはドイツ近代史を考えると、どうしても外せない項目です。4回くらいで読めると思います。以下には、一応僕の選択を書きますが、どのニュースを読むかについては、20ばかりあるニュースから、皆さんの希望を聞いて決めます。)
2	2 文法の復習、その2	「アウシュヴィッツ解放、記念式典」その2
3	3 文法の復習、その3	「アウシュヴィッツ解放、記念式典」その3
4	4 文法の復習、その4	「アウシュヴィッツ解放、記念式典」その4 (この回くらいで、このニュースは終われると思います)
5	5 文法の復習、その5	「EU の地球温暖化対策」その1 (環境問題先進国としてのドイツに関心がある人も多いので、このニュースを選択してみました。)
6	6 文法の復習、その6	「EU の地球温暖化対策」その2
7	7 文法の復習、その7	「EU の地球温暖化対策」その3
8	8 文法の復習、その8	「EU の地球温暖化対策」その4 (この回くらいで、このニュースは終わります)
9	9 文法の復習、その9	「サイボーグの腕」その1 (思うだけで動かせる機械の腕が、もう実用化されている、というニュースです)
10	10 文法の復習、その10	「サイボーグの腕」その2
11	11 文法の復習、その11	「サイボーグの腕」その3
12	12 文法の復習、その12	「サイボーグの腕」その4 (この回で、このニュースは終われると思います)
13	13 文法の復習、その13	「白熊クヌートの誕生日」その1 (ベルリン動物園の人気者、白熊クヌートの1歳の誕生日の話です)
14	14 文法の復習、その14	「白熊クヌートの誕生日」その2
15	15 学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間試験などによって判断します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

インタラクティブシート / Interactive Sheet
manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期に続いて、テキストに従って授業を進めていきます。
初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

会話力の向上を目標とする。
留学などの現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につける。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語何年勉強したか。(よく使う挨拶)	声調、会話練習と発表
2	市場へ散歩に行く。(“才”“就”の使い方)	声調、会話練習と発表
3	おみやげを買う。(前置詞の色々)	声調、会話練習と発表
4	体調が良くない。	声調、会話練習と発表
5	病気を見てもらう。(“都”“也”の文型)	声調、会話練習と発表
6	道を案内する。(時間表現+動詞文)	声調、会話練習と発表
7	友達の家を訪問する。(比較表現)	声調、会話練習と発表
8	久しぶりの再会(補語の活用)	声調、会話練習と発表
9	各自の仕事、恋愛を言う。(伝聞、様態表現)	声調、会話練習と発表
10	同僚にプレゼントを贈る。(除了、是・的などの構文)	声調、会話練習と発表
11	旅行の見聞を述べる。(二重目的語構文)	声調、会話練習と発表
12	日本料理は味が薄い(程度補語)	声調、会話練習と発表
13	中国観光客が温泉を体験する。(感想文)	声調、会話練習と発表
14	総復習	声調、会話練習と発表
15	テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎日30分以上に復習、予習すること。
本文、単語を暗記すること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは40%、小テスト、確認テストは60%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中国語検定試験などにぜひ挑戦してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title 出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

資料配布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1 回生の「基礎」「展開」で学んだ基礎を発展させる授業です。毎回文法の簡単な説明を行いつつ、ZDF(ドイツ公共放送)のニュースを見てゆきます。

1. 大事な文法事項を、毎回の授業で一つずつ、復習してゆきます。

2. ZDF(ドイツ公共放送)のニュースから、面白そうなものを使ってテキストを作りました。ドイツ語(放送の主音声)と日本語訳(副音声)を活字に起こしたテキストです。ただ、これは実際のテレビのニュースなので、初心者には少々語彙が難しいです。そこで、ドイツ語の名詞の上に性と意味を書いたものもお渡します。「これだと文法だけに集中できて、よく分かる」ということです。たくさんニュースを見て、聞いて、読んで、ドイツ語に慣れましょう。

3. ドイツのポップスも紹介します。またZDFのニュースは何年分も録り貯めてありますので、その中から皆さんの興味のあるものも見て、ドイツ人での暮らしについても知ってください。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

ドイツ文法が大まかに理解できるようになる。

簡単なテキストなら、辞書を使って読めるようになる。

簡単なテレビのニュースなら、耳で聞いて分かるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

1 回生の教科書を復習しておいて下さい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1 文法の復習、その1	ニュース「オバマ氏、大統領選を制す」その1。 (僕が持っている ZDF のニュースの中で、文章が奇跡的に短いのがこの「オバマ氏、大統領選を制す」です。ですから、このニュースを使って、ドイツ語ニュース入門を果たしましょう。)
2	2 文法の復習、その2	「オバマ氏、大統領選を制す」その2
3	3 文法の復習、その3	「オバマ氏、大統領選を制す」その3
4	4 文法の復習、その4	「オバマ氏、大統領選を制す」その4
5	5 文法の復習、その5	「オバマ氏、大統領選を制す」その5
6	6 文法の復習、その6	オバマ氏、大統領選を制す」その7
7	7 文法の復習、その7	「オバマ氏、大統領選を制す」その7
8	8 文法の復習、その8	「オバマ氏、大統領選を制す」その8 (この8回くらいで、オバマ氏大統領就任のニュースは終われると思います)
9	9 文法の復習、その9	「マイケル・ジャクソン、死す」その1 (「オバマ氏、大統領選を制す」のニュースの次くらいに文章が短いのが、このマイケル・ジャクソンの死を伝えるニュースです。入門編の2つ目は、このニュースを見て、聞いて、読みましょう。)
10	10 文法の復習、その10	「マイケル・ジャクソン、死す」その2
11	11 文法の復習、その11	「マイケル・ジャクソン、死す」その3
12	12 文法の復習、その12	「マイケル・ジャクソン、死す」その4
13	13 文法の復習、その13	「マイケル・ジャクソン、死す」その5
14	14 文法の復習、その14	「マイケル・ジャクソン、死す」その6 (この回くらいで、マイケル・ジャクソンの死のニュースは、終われると思います)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間試験などによって判断します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
会話作文 ドイツ語表現辞典	伊藤小枝子、フロリアン・クルマス / 朝日出版社 / /

絶版の本ですが、図書館にあります。貸出もできます。一日1頁とか、量を決めて読んでゆくと、読むだけで実力がつきます。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

インタラクティブシート / Interactive Sheet
 manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation – Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Das Lehrbuch muss bestellt werden. Beim ersten Unterricht werde ich die Anzahl der benoetigten Buecher feststellen. Deshalb bitte alle kommen!!

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級コミュニケーション I (K)

11198

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation – Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Das Lehrbuch muss bestellt werden. Beim ersten Unterricht werde ich die Anzahl der benoetigten Buecher feststellen. Deshalb bitte alle kommen!!

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級コミュニケーションⅡ (K)

11251

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft.

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begrueessung und Ermittlung des Wissenstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Vorstellung der Protagonisten
4	Abschnitt 2	Kontaktaufnahme
5	Abschnitt 3	Freizeit deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Lernprobleme, Geldprobleme...
7	Abschnitt 5	Kleider machen Leute?
8	Abschnitt 6	Essen und Trinken
9	Abschnitt 7	Einkaufen im Kaufhaus
10	Abschnitt 8	Geburtstag und andere Feste
11	Abschnitt 9	Arbeitsmarkt in Deutschland
12	Abschnitt 10	deutsche Staedte
13	Abschnitt 11	deutsche Staedte
14	Abschnitt 12	Fussball
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

Das Lehrbuch muss bestellt werden. Beim ersten Unterricht werde ich die Anzahl der benoetigten Buecher feststellen. Deshalb bitte alle kommen!!

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

授業中に指示する。

その他 / Other

拡張項目

スペイン語と社会 I (単位回復) (Z1)

12811

担当者名 / Instructor 平井 素子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

教科書と視聴覚教材を用い生きたスペイン語の表現を身につけ、スペイン語圏(主にスペイン)の社会や文化について学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話に必要な語彙・表現を習得します。

スペイン語圏の(主にスペイン)社会に関する知識を得ることで、スペイン語圏(主にスペイン)およびスペイン語に対する興味・関心を深めます。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業説明他	
2	第1課	文法: serを使った分、定冠詞・名詞、文の種類 会話: 自己紹介、問いかけ・返事 社会と文化: 名前
3	第2課	文法: 主語の代名詞、serとestar、不定冠詞・形容詞、基数 会話: あいさつ、場所を尋ねる 社会と文化: スペイン留学
4	第3課	文法: 規則動詞現在形 会話: ほめる・お礼を言う、自己紹介 社会と文化: フラメンコ
5	第4課	文法: 不規則動詞現在形 会話: 飲食店で注文する・値段を尋ねる 社会と文化: パル
6	第5課	文法: 指示詞、比較級・最上級、疑問詞 会話: 乗り物に乗る・切符を買う 社会と文化: 交通
7	第6課	文法: 再帰動詞、基数、序数 会話: 刊行する・写真を撮る 文化と社会: 観光
8	学習進捗の確認	
9	第7課	文法: 点過去形、直接・間接目的語の代名詞 会話: 過去のことを話題にする、スポーツを話題にする 社会と文化: サッカー
10	第8課	文法: 線過去形、所有詞、gustar 会話: 思い出を語る、好きなものを話題にする、スポーツに誘う 社会と文化: スポーツ・闘牛
11	第9課	文法: 現在分詞、過去分詞、進行形、現在完了形 会話: 進行中のことを話題にする、完了したことを話題にする 社会と文化: スペイン語圏の広がり
12	第10課	文法: 未来形、過去未来形 会話: 未来のことを話題にする、願望を控えめに伝える 社会と文化: スペイン語圏と日本
13	第11課	文法: 接続法現在、関係詞 会話: 買い物をする、呼びかける、聞き手の注意を引く 社会と文化: ショッピング
14	第12課	文法: 従属節と接続法、命令法と命令文 会話: 贈り物をする、祝福する 社会と文化: クリスマス
15	学習進捗の確認	
	上記のように教科書に沿って進めますが、受講生の理解度を確認しながら進捗を調整します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回の出席が大切です。できる限り休まず出席しましょう。

毎回辞書を持参すること。
毎回の講義内容を必ず復習すること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	1) 小テスト・まとめのテスト 2) 提出物 3) 授業への積極的な参加

このクラスの成績評価はC・Fのみです。
毎回授業の最後に小テストを実施します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ミニマムスペイン語	福嶋教隆 / 第三書房 / 978-4-8-86-3034-8 /

指定教科書は、初回の授業に持参できるよう、事前に購入しておくこと。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

文法の知識をさらに深めたい人には『改訂スペイン語の入門』が参考になります。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
 DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>
 スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>
 ラテンアメリカ基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

質問は大歓迎。

motoko@motoko-es.comまで。

その他 / Other

外国語コミュニケーションルーム企画などに参加してください。

拡張項目

基本スペイン語(単位回復)(B)

12836

担当者名 / Instructor 平井 素子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認すると同時に、DVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。
学生のレベルによって内容を調整する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業説明他	
2	第1課:あいさつ	文法:文の種類
3	第2課:紹介	文法:名詞と冠詞
4	第3課:専攻と言語	文法:動詞
5	第4課:街で	文法:指示詞、hay、接続詞
6	第5課:食事	文法:目的格人称代名詞、gustar
7	第6課:家族と職業	文法:所有形容詞、tenerを用いる文
8	学習進捗の確認(まとめのテスト)	
9	第7課:持ち物	文法:形容詞、quererを用いる文
10	第8課:住居	文法:数字、前置詞
11	第9課:時刻と日付	文法:再帰代名詞、jugarを用いる文
12	第10課:大学	文法:肯定命令文、無人称のse
13	第11課:週末の後で	文法:過去分詞、現在完了
14	第12課:休暇の前	文法:動詞irを用いる文、前置詞句
15	学習進捗の確認(まとめのテスト)	

上記のように教科書に沿って進めますが、受講生の理解度を確認しながら進捗を調整します。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

毎回の出席が大切です。できる限り休まず出席しましょう。
毎回辞書を持参すること。
毎回の講義内容を必ず復習すること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	1)小テスト・まとめのテスト 2)提出物 3)授業への積極的な参加

成績評価はC・Fのみです。

毎回授業の最後に小テストを実施します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
対話で学ぶスペイン語	坂東省次他 / 三修社 / 978-4-384-42006-7C1087 /

指定教科書は、初回の授業に持参できるよう、事前に購入しておくこと。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改定スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

文法の知識をさらに深めたい人には『改訂スペイン語の入門』が参考になります。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>

スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>

ラテンアメリカ基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

質問は大歓迎。

motoko@motoko-es.comまで。

その他 / Other

外国語コミュニケーションルーム企画などに参加してください。

拡張項目

中国語中級表現読解Ⅲ (K)

12052

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

発音・語彙・文法全般にわたって習得したものを確認し、自ら読める・話せるレベルに向けドリルを中心に行う。ただしテキストは予習すべき事項が多く、授業時に電子辞書を引きながら対応できるものではない。予習をして疑問点を明確にしておくこと。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国人が書いたものを基本的には理解できる。使える表現を用いて大胆に話す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

中国語初級・中級Ⅰ、Ⅱ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1～3	1 発音の復習	音節発音と綴り、表記
4～5	単文の復習	名詞、形容詞、動詞; やや複雑な構文
6～8	モダリティー表現	強調表現、否定副詞、程度副詞
9～10	「把」構文、「被」構文、使役構文	他動性、自他
11～12	連動文、兼語文、緊縮文	使役、アイコンニック
13～14	複文	並列、因果、条件
15	4つの補語と全体のまとめのテスト	結果補語、方向補語、可能補語、様態補語

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

泳げるようになってからプールに行くことはない。プールに行って泳ぎながら上達する。外国語の学習も同じことである。話しながらよりうまくなる、読みながらより正確に読めるようになる。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・発音の正確さと、毎回行う予習・復習状況の確認小テスト ・日常的取組と、ユニット毎に行う到達度確認小テスト 以上を総合して評価する。

毎回小テストを行い、弱点を指摘する形で授業をすすめる。基本的に毎回出席すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

疑問点はいつでもどこでも尋ねる態度が肝要である。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中国語のしくみ』	中川正之 / 朝日出版社 / ISBN4-255-45067-6 /

参考書 / Reference Books

参考書・辞書については授業時適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

その他 / Other

拡張項目

中国語上級表現読解 I (K)

11676

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

文法事項を的確に踏まえて文章を間違いなく読みこなしたうえで、書く・話すことも視野に入れつつ学習を進める。授業時に電子辞書を引きながら翻訳するようなことは認められない。事前に予習をしてきていることを前提に授業を進める。テキストはプリントを用いる。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

「人民日報」などの新聞や現代小説を独力で80%以上理解でき、自分の意見を手短かに述べるができるようになること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

中国語初級・中国語中級

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	プリント使用(初見で読解する)。	ピンイン、音節、基本文型
2	テキスト読解とドリル(1)	結果補語、方向補語、可能補語
3	テキスト読解とドリル(2)	呼応表現
4	テキスト読解とドリル(3)	状態補語
5	テキスト読解とドリル(4)	三種類の重ね型
6	テキスト読解とドリル(5)	連動文
7	テキスト読解とドリル(6)	連体修飾語、連用修飾語
8	テキスト読解とドリル(7)	「在」の用法
9	テキスト読解とドリル(8)	アスペクト
10	テキスト読解とドリル(9)	反語 否定
11	テキスト読解とドリル(10)	分離動詞
12	テキスト読解とドリル(11)	感情表現
13	テキスト読解とドリル(12)	身体部位名詞
14	テキスト読解とドリル(13)	イディオム
15	総復習とテスト	全般

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

外国語は若い時に可能な限り集中して学ぶことが一番の早道である。インターネットなどでも様々なかたちで中国語に触れることができる。あらゆる機会を利用して中国語に触れてみよう。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	・予習・復習を確認するテストを毎回行う ・発音の正確さと正確な読みを評価する 以上の総合評価を行う。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

丹念に辞書を引き、既習の文法事項を意識して正確に読み・書き・話すことが肝要である。成人してからの外国語は感覚のみでは高い水準に達することはできない。

教科書 / Textbooks

プリント

参考書 / Reference Books

授業時に適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

著作権などとの関係で微妙な問題もあるので授業時に指示する。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

フランス語と社会 I (単位回復) (Z1)

12143

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	世界のフランス語圏	名前、国籍・職業、être, s'appeler
2	フランスの地理	年令、兄弟、不定冠詞、数字(1~30)
3	フランスの歴史1	好きなものを言う、定冠詞
4	フランスの歴史2	~を着ている、er動詞、冠詞の使い分け
5	日仏関係	品質形容詞、疑問文の作り方(基本形)
6	フランスとEU	所有形容詞
7	フランス人のアメリカ嫌い?	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約
8	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	フランス人の宗教	部分冠詞、prendre manger boire
10	恋愛、結婚、家族	天候、時刻、数字(30~69)
11	フランスの経済	代名動詞(起きる、寝る)
12	フランス人の労働	一週間の生活を話す、さまざまな動詞
13	フランス人のスポーツ	疑問形容詞、指示形容詞
14	フランスの政治	疑問副詞の使い方
15	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。
このクラスの成績評価はCまたはFのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

基本フランス語(単位回復) (B)

11319

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	あいさつ、名前を言う	主語人称代名詞、数詞(1~10) s' appeler
2	国籍・職業を言う	名詞の性・数、否定文、数詞(11~20) être, faire
3	住んでいる所を言う	場所の前置詞、不定冠詞、数詞(21~69) habiter, aller
4	年令を言う、兄弟姉妹のことを言う	定冠詞、avoir
5	～語を話す、～を着ている	冠詞の使い分け、parler, porter, er動詞
6	人や物の特徴を言う	疑問文の作り方(基本形)、品質形容詞、faire
7	誰のものを言う	所有形容詞
8	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	天候を言う、時刻を言う	非人称動詞
10	この・あの、どんな	疑問形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
11	これからのこと・したばかりのことを言う	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約 allerとvenir
12	毎朝何を食べているか言う	部分冠詞、数量副詞 prendre, manger, boire
13	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞、曜日
14	過去のことを話す	複合過去形
15	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

基本フランス語(単位回復) (A)

11308

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語基礎(仏検4級レベル)の習得を目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	定冠詞、不定冠詞、形容詞、er動詞	
2	疑問文の作り方、否定文、数詞(1~30)	
3	人やものの特徴を言う	比較級、最上級
4	彼、彼女、それについて言う	補語人称代名詞
5	天候を言う、時刻を言う	非人称動詞、数詞(30~69)
6	私は~という名前です	代名動詞、強勢形人称代名詞
7	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞、曜日
8	前半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	朝食に食べるものを言う	部分冠詞、数量の表現、prendre, manger, boire
10	過去のことを言う(1)	複合過去形
11	過去のことを言う(2)	半過去形
12	未来のことを言う	単純未来形
13	中性代名詞	
14	文で説明する	関係代名詞、受動態
15	後半講義の総括および小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

フランス語と社会Ⅱ(単位回復)(Z1)

12168

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	パリという街1	挨拶、名前、国籍・職業、主語人称代名詞、être, s'appeler
2	パリという街2	年令、兄弟、不定冠詞、否定文、数字(1~30)、avoir
3	パリという街3	住んでいる町、定冠詞、habiter, aimer
4	パリという街4	～語を話す、er動詞
5	フランスの地方1	品質形容詞、疑問文の作り方(基本形)、faire
6	フランスの地方2	所有形容詞
7	フランスの地方3	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、allerとvenir
8	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	フランスの料理	部分冠詞、数量の表現 prendre manger boire
10	フランスの学校	非人称動詞、数字(30~69)
11	フランスのエリート	代名動詞
12	フランスの移民問題	一週間・一日の生活を話す、さまざまな動詞
13	フランスの時事問題(その1)	疑問形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
14	フランスの時事問題(その2)	疑問文の作り方(疑問副詞)
15	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。
このクラスの成績評価はCまたはFのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語中級表現読解Ⅱ (K)

12051

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したドイツ語運用能力(聞く・話す・読む・書く)を確実なものとし、さらに総合的に伸ばす。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

1. ドイツ語運用能力を総合的に伸ばす。
2. リスニング能力を身に付け、様々な事柄をドイツ語で表現できるようになる。
3. 中級レベルのドイツ語運用能力の獲得(ドイツ語検定3級への足がかり)。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	1 授業説明、	これまでの学習内容の確認
2	第1章 Beruf	
3	第2章 ICE	
4	第3章 Treffen	
5	第4章 Ferien	
6	第5章 Wochenende	
7	第6章 Umzug	
8	前半のまとめと中間評価	
9	第7章 Nebensatz (1)	
10	第8章 Nebensatz (2)	
11	第9章 Ueberraschung	
12	第10章 Passiv	
13	第11章 Konjunktiv (1)	
14	第12章 Konjunktiv (2)	
15	総括	検証テスト(60分)、解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習復習を必ずすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席状況、積極的な授業参加、中間テスト・検証テストから総合的に評価する。 出席率が2/3に達していない場合、成績評価の対象外とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ語リスニングのポイント	R.Schulz, 行重耕平 / 三修社 / 978-4-384-13092-8C1084 /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

受講者の理解度に応じて、授業の進度を変更する場合がある。

拡張項目

フランス語・応用Ⅱ (2A)

11620

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。
 自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。
 文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう
 フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる
 初級～中級レベルの理解力をさらにやしなう

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	動詞PARTIR, SORTIR	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR, DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇の過ごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE, PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食えること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	前期と同様、小テスト、出席、授業参加、加えて、授業内で学習到達度最終確認テストを行い、総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業中は集中して、聞く、読む、話す、書く作業に取り組みましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

NOUVEAU EXPRESSION

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2194-0 /

前期に引き続き同じ教科書を用います。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。留学を考えている人はチェックしておいてください。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

辞書を持参してください。

拡張項目

フランス語・応用 I (2A)

11516

担当者名 / Instructor 宇野木 めぐみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。
初級から中級レベルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行ないます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる
フランス語の言語感覚をやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの悦びを知る
初級～中級レベルの理解力をやしなう

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音	挨拶する。自己紹介する。
2	動詞ETRE, ALLER	ある人について尋ねる。つづりを言う。
3	動詞ETRE, FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
4	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
5	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
6	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
7	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
8	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
9	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
10	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
11	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
12	C' EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
13	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
14	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
15	まとめ	テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加、加えて、学期末に授業内で到達度確認テストを行い、総合的に評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業中は集中して、聞く、発音する、読む、書く作業に取り組みましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

NOUVEAU EXPRESSION

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

高橋秀雄・Serge GIUNTA / 第三書房 / 978-4-8086-2194-0 /

参考書 / Reference Books

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

ル・デイク

/ 白水社 / / 仏和辞典

プチ・ロワイヤル

/ 旺文社 / / 仏和辞典

プログレッシブ

/ 小学館 / / 仏和辞典

クラウン

/ 三省堂 / / 仏和辞典

クラウン(小型版)

/ 三省堂 / / 仏和辞典

仏和辞典を未購入の方はぜひ購入を。上記の仏和辞典は学習用仏和辞典として適切なものです。書店で手に取って、選んでください。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

エデュ・フランス (<http://www.edufrance-japan.com>)

フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。留学を考えている人はチェックしておいてください。

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

コミュニケーションペーパー / Communication Paper

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

辞書を持参してください。

拡張項目

基本スペイン語(単位回復)(A)

12142

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認すると同時に、DVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。
学生のレベルによって内容を調整する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、基本表現、アルファベット	
2	母音と子音、アクセント	
3	名詞と冠詞	
4	形容詞、数詞	
5	小テスト①、小テスト後、SER動詞	
6	指示形容詞	
7	SER動詞、疑問詞	
8	ESTAR動詞	
9	ESTAR動詞の復習、hay	
10	小テスト②、小テスト後、序数	
11	所有形容詞前置形と後置形	
12	規則動詞 直説法現在	
13	疑問文と否定文	
14	小テスト③ テスト後、今まで総復習	
15	小テスト③の返却と解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

語学を学ぶには、復習が基本である。
毎回の講義に出席し、内容を必ず復習すること。
毎回、DVDを見た後、感想文を書き、提出する。
3回の小テストを必ず受け、6割以上とること。
不正行為は自動的に不合格にする。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	1) 3回の小テスト 2) 出席・授業への積極的な参加
成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を必ず持参すること。

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

今までの授業で使用したスペイン語の教科書。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語と社会Ⅱ(単位回復)(Z1)

12172

担当者名 / Instructor 豊原 ひとみ

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語を学ぶだけでなく、スペイン語圏(主にスペイン)の社会や文化についての知識を深める。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語の初級文法とスペイン語圏(主にスペイン)の社会や文化に関する知識を深めること。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課: En el aeropuerto とスペインで話されている言語についての講義	
	第2課: En un hotel とスペインと日本の間の歴史についての講義	
	第3課: En "Olé España" とスペインの教育・大学生についての講義	
	第4課: En el Museo del Prado とスペインの食事についての講義	
	第5課: En ave とスペインのワインについての講義	
	第6課: En un taxi とスペインのスポーツについての講義	
	第7課: En un bar とスペインの宗教についての講義	
	第8課: Con una amiga de Antonio とスペインの労働についての講義	
	第9課: Con una señora misteriosa とスペインの絵画についての講義	
	第10課: Delante de la Catedral とスペインの建築についての講義	
	第11課: En la Sagrada Familia とスペインの祭りについての講義	
	第12課: En Montserrat とスペインの住居についての講義	
	上記のように教科書に沿って進めますが、受講生の理解度を確認しながら進度を調整します。	また、科目の性格上、15回の授業の内容を正確に表すことができません。 各週の授業と教科書の課が一致していないからです。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

辞書を必ず持つてくること。

予習・復習を必ず行うこと。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	1) 小テスト 2) 提出物 3) 授業への積極的な参加

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

小テストを行う他、毎回の授業後、提出してもらった作業を行うので、ただ出席しているだけでは合格しない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

新たな気持ちで前向きに取り組みましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
El tesoro de España	福嶋教隆 / 同学者 / 978-4-8102-0381-3 /

教科書のほか、プリントや視聴覚教材も使用。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>
DELE: <http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm>
スペイン基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/>
ラテンアメリカ基本情報(外務省): <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現 I (3A)

12345

担当者名 / Instructor 金 容賛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 指定詞、指示詞	
	6 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	7 丁寧形(ヘヨ体)	
	8 丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
	9 過去形	
	10 接続語尾<1>、疑問詞	
	11 漢数詞、漢数詞を使った表現	
	12 固有数詞、時刻の表現	
	13 否定形、不可能の表現	
	14 好みの表現、願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語と文化 I (単位回復) (Z1)

12152

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語の基礎を習得し直しつつ、ドイツ文化事情の幅広い理解を図る。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と数多くの練習問題をこなしていく。さらに適時、ドイツの歴史や文化事情を紹介していく。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回目 授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。アルファベット。
2	第2回目 ドイツ語の発音。動詞の現在人称変化(1)	ウムラウト、二重母音の発音練習。規則動詞の現在人称変化。
3	第3回目 ドイツ語の文章構造。	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
4	第4回目 検証テストと解説。ドイツという国について(1)。	ヨーロッパにおけるドイツ。ドイツ語圏の国々。第1回目から第3回目までの検証テスト(5月1日)
5	第5回目 動詞の現在人称変化(2)	sein, haben, werden, 等の重要な不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
6	第6回目 動詞の現在人称変化(3)	不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
7	第7回目 名詞の性、数、格変化(1)	定冠詞と不定冠詞の1格の説明と練習。
8	第8回目 検証テストと解説。ドイツという国について(2)。	ドイツ国内の地誌。第5回目から第7回目までの検証テストと解説(5月29日)
9	第9回目 名詞の格変化(2)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(4格)の説明と練習。
10	第10回目 名詞の格変化(3)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(3格)の説明と練習。
11	第11回目 冠詞類	否定冠詞と所有冠詞の説明と練習。
12	第12回目 検証テストと解説。ドイツの大まかな歴史(1)	敗戦までのドイツ。第9回目から第11回目までの検証テストと解説(6月26日)
13	第13回目 前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。
14	第14回目 話法の助動詞	助動詞を用いた文章構造の説明と練習。
15	第15回目 最終検証テストと解説。ドイツの大まかな歴史(2)	敗戦後のドイツ。第13回目から第14回目までの検証テストと解説(7月17日)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	日常的な授業に対する取り組みと4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。4回の検証テストは、必ず受けること。1/3以上の欠席は不可。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。必ず受け取るように。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語と文化Ⅱ(単位回復)(Z1)

12176

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語の基礎を習得し直しつつ、ドイツ文化事情の幅広い理解を図る。授業では過去の表現等を含むドイツ語の基礎文法の理解と習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と練習をこなしていく。さらに適時、教育、住宅建築、環境問題、外国人労働者といったドイツ人の抱える身近なドイツ文化事情を紹介していく。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1回目 授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。ドイツ語Ⅰの総復習。プリント配布。
2	第2回目 複合動詞の現在形	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
3	第3回目 接続詞(1)、間接疑問文	並列の接続詞と副詞的接続詞の説明と練習。間接疑問文の作り方と練習。
4	第4回目 検証テストと解説。ドイツの教育	ドイツの学校制度について。第1回目から第3回目までの検証テスト(10月23日)
5	第5回目 接続詞(2)	従属の接続詞、副文の説明と練習。
6	第6回目 命令形	命令形の作り方と練習。
7	第7回目 未来形、話法の助動詞	未来形の説明と練習。話法の助動詞を用いた構文の練習。
8	第8回目 検証テストと解説。ドイツの建築	バウハウスの運動について。第5回目から第7回目までの検証テスト(11月20日)
9	第9回目 形容詞と副詞(1)	形容詞と副詞の用法、形容詞の格変化の説明と練習。
10	第10回目 形容詞と副詞(2)	形容詞と副詞の比較表現の説明と練習。
11	第11回目 過去の表現(1)	規則動詞と不規則動詞の三基本形の説明と練習。
12	第12回目 検証テストと解説。ドイツの環境問題	ドイツのゴミ処理と環境問題について。第9回目から第11回目までの検証テスト(12月18日)
13	第13回目 過去の表現(2)	過去形の作り方と練習。
14	第14回目 過去の表現(3)	現在完了形の作り方と練習。
15	第15回目 最終検証テストと解説。外国人労働者	多民族国家になりつつあるドイツについて。第13回目から第14回目までの検証テスト(1月15日)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	日常的な授業に対する取り組みと4回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。4回の検証テストは必ず受けること。1/3以上の欠席は不可。
第一回目の授業日にプリントを配布する。		四回の検証テストは必ず受験すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業ではプリントを使用するが、以前、受講した際の教科書を持参するように。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

manaba+R / Learning Management System (manaba+R)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現Ⅱ (3B)

12430

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1-4 Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表わす前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
	5-8 Einkaufen(買い物)	どこで何をかうかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表わす冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
	9-12 Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
	13-15 Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表わす前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付きスタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-6C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現Ⅱ (3C)

10221

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1-4 Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表わす前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
	5-8 Einkaufen(買い物)	どこで何をかうかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表わす冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
	9-12 Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
	13-15 Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表わす前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付きスタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-6C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・応用 I (2C)

11519

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
2	第1課 挨拶 語彙と文法ポイント。	
3	第1課 挨拶 本文と練習問題。	
4	第2課 自己紹介 語彙と文法ポイント。	
5	第2課 自己紹介 本文と練習問題。	
6	第3課 訛りについて 語彙と文法ポイント。	
7	第3課 訛りについて 本文と練習問題。	
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第4課 本を買う 語彙と文法ポイント。	
10	第4課 本を買う 本文と練習問題。	
11	第5課 天気について 語彙と文法ポイント。	
12	第5課 天気について 本文と練習問題。	
13	第6課 喫茶店にて 語彙と文法ポイント。	
14	第6課 喫茶店にて 本文と練習問題。	
15	前期の復習や確認テストを行います	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
	2 テキストの第6課の文法を学習する。	
	3 テキストの第6課の本文を学習する。	
	4 テキストの第7課の文法を学習する。	
	5 テキストの第7課の本文を学習する。	
	6 テキストの第8課の文法を学習する	
	7 テキストの第8課の本文を学習する。	
	8 中間まとめ、中間小テスト。	
	9 テキストの第9課の文法を学習する。	
	10 テキストの第9課の本文を学習する。	
	11 テキストの第10課の文法を学習する。	
	12 テキストの第10課の本文を学習する。	
	13 受身文の文法や本文を学習する。	
	14 使役文の文法や本文を学習する。	
	15 全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合Ⅱ (3E)

10095

担当者名 / Instructor 大嶋 伸尚

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合Ⅱ (3D)

10094

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合Ⅱ (3C)

10088

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合Ⅱ (3B)

10087

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・総合Ⅱ (3A)

10086

担当者名 / Instructor 竹中島 厚子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひとつお習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・基礎 (2C)

10951

担当者名 / Instructor 関根 真保

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現 I (3C)

12233

担当者名 / Instructor SONG EUN YOUNG

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 指定詞、指示詞	
	6 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	7 丁寧形(ヘヨ体)	
	8 丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
	9 過去形	
	10 接続語尾<1>、疑問詞	
	11 漢数詞、漢数詞を使った表現	
	12 固有数詞、時刻の表現	
	13 否定形、不可能の表現	
	14 好みの表現、願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・基礎 (2A)

10758

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・展開 (2C)

11057

担当者名 / Instructor 関根 真保

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
	2 テキストの第1課を学習する。	
	3 テキストの第2を学習する。	
	4 テキストの第3課を学習する。	
	5 テキストの第4課を学習する。	
	6 テキストの第5課を学習する。	
	7 テキストの第6課を学習する。	
	8 中間まとめ、中間小テスト。	
	9 テキストの第7課を学習する。	
	10 テキストの第8課を学習する。	
	11 テキストの第9課を学習する。	
	12 テキストの第10課を学習する。	
	13 テキストの第11課を学習する。	
	14 テキストの第12課を学習する。	
	15 全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・応用 I (2B)

11344

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
2	第1課 挨拶 語彙と文法ポイント。	
3	第1課 挨拶 本文と練習問題。	
4	第2課 自己紹介 語彙と文法ポイント。	
5	第2課 自己紹介 本文と練習問題。	
6	第3課 訛りについて 語彙と文法ポイント。	
7	第3課 訛りについて 本文と練習問題。	
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第4課 本を買う 語彙と文法ポイント。	
10	第4課 本を買う 本文と練習問題。	
11	第5課 天気について 語彙と文法ポイント。	
12	第5課 天気について 本文と練習問題。	
13	第6課 喫茶店にて 語彙と文法ポイント。	
14	第6課 喫茶店にて 本文と練習問題。	
15	前期の復習や確認テストを行います	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・応用 I (2A)

11343

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、会話の文を通じてセンテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ◎会話の文を通してセンテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
- ◎中国語の文章を読む力をアップできる。
- ◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介しします。	
2	第1課 挨拶 語彙と文法ポイント。	
3	第1課 挨拶 本文と練習問題。	
4	第2課 自己紹介 語彙と文法ポイント。	
5	第2課 自己紹介 本文と練習問題。	
6	第3課 訛りについて 語彙と文法ポイント。	
7	第3課 訛りについて 本文と練習問題。	
8	中間復習や小テストなどを行います。	
9	第4課 本を買う 語彙と文法ポイント。	
10	第4課 本を買う 本文と練習問題。	
11	第5課 天気について 語彙と文法ポイント。	
12	第5課 天気について 本文と練習問題。	
13	第6課 喫茶店にて 語彙と文法ポイント。	
14	第6課 喫茶店にて 本文と練習問題。	
15	前期の復習や確認テストを行います	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは50%、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語へのアプローチ II	楊凱榮他著／朝日出版／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・展開 (2B)

10842

担当者名 / Instructor 二宗 美紀、平井 素子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
14	再帰動詞(相互), 再帰動詞(強調), 再帰動詞(不定人称・受動), hay	
15	hacerの現在形, 天候の表現, 動詞原形の働き, 天体, 四季, 動植物	
16	過去分詞, 過去分詞のはたらき, 前置詞の目的語の代名詞, 現在完了形, 現在完了形のはたらき	
17	現在分詞, 現在分詞のはたらき, 比較級, 最上級	
18	点過去形, 点過去形を使った会話, 親族	
19	点過去形(不規則動詞), 点過去形(不規則動詞)を使った会話	
20	線過去形, 点過去形と線過去形, 線過去形のはたらき, 線過去形を使った会話	
21	未来形, 未来形のはたらき, 未来形を使った会話, 未来形と「ir a+動詞原型」	
22	接続法現在形, 接続法の単文でののはたらき, 感嘆・慣用句	
23	接続法現在形(不規則動詞), 接続法の名詞節でののはたらき, 原形と接続法, 能動文と受動文	
24	接続法の関係節でののはたらき, 接続法のまとめ, 動詞の時制のまとめ	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等 (まとめのテストは, 都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
El tesoro de Espanaスペインの宝	福嶋教隆 / 同学社 / 978-4-8102-0381-3 /

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・展開 (2A)

11056

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ過去形から)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
14	再帰動詞(相互), 再帰動詞(強調), 再帰動詞(不定人称・受動), hay	
15	hacerの現在形, 天候の表現, 動詞原形の働き, 天体, 四季, 動植物	
16	過去分詞, 過去分詞のはたらき, 前置詞の目的語の代名詞, 現在完了形, 現在完了形のはたらき	
17	現在分詞, 現在分詞のはたらき, 比較級, 最上級	
18	点過去形, 点過去形を使った会話, 親族	
19	点過去形(不規則動詞), 点過去形(不規則動詞)を使った会話	
20	線過去形, 点過去形と線過去形, 線過去形のはたらき, 線過去形を使った会話	
21	未来形, 未来形のはたらき, 未来形を使った会話, 未来形と「ir a+動詞原型」	
22	接続法現在形, 接続法の単文でののはたらき, 感嘆・慣用句	
23	接続法現在形(不規則動詞), 接続法の名詞節でののはたらき, 原形と接続法, 能動文と受動文	
24	接続法の関係節でののはたらき, 接続法のまとめ, 動詞の時制のまとめ	
	注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等 (まとめのテストは, 都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。)
詳しくは担当者から説明する。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
El tesoro de Espana スペインの宝	福嶋教隆 / 同学社 / 978-4-8102-0381-3 /

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・基礎 (2B)

10757

担当者名 / Instructor 中村 多文字、平井 素子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	母音, 子音, アクセント, 男性形と女性形	
2	名詞の性と数, 冠詞・形容詞の性と数, 主語の代名詞, アルファベット	
3	estarの現在形, 指示形容詞, 指示代名詞	
4	ir, venirの現在形, 文の種類, 国民・国名, 前置詞, 接続詞	
5	tenerの現在形, 基数詞(0~10), 時刻の表現, 基数詞(11~100)	
6	hablarの現在形, スペインの地方と言語, -ar動詞の現在形, 序数詞	
7	comerの現在形, deberの現在形, saber, conocerの現在形, 関係代名詞que	
8	vivirの現在形, 都市, 規則動詞の現在形まとめ, 文をつなぐque	
9	quererの現在形, 所有詞前置形, 所有詞後置形, 交通	
10	poderの現在形, 週の曜日, 目的語の代名詞	
11	salir, llegarの現在形, 基数詞(101~), 買い物, 市内の建物	
12	gustarの現在形, gustar型の動詞, 暦の月, decir, darの現在形	
13	levantarseの現在形, 再帰動詞の現在形, 再帰動詞(基本用法), -mente副詞	
注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均2, 3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
El tesoro de Espana スペインの宝	福嶋教隆 / 同学社 / 978-4-8102-0381-3 /

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

スペイン語・基礎 (2A)

10949

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また、発音、アクセント、つづり、基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

スペイン語基礎文法(ほぼ現在形まで)の習得

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	母音, 子音, アクセント, 男性形と女性形	
2	名詞の性と数, 冠詞・形容詞の性と数, 主語の代名詞, アルファベット	
3	estarの現在形, 指示形容詞, 指示代名詞	
4	ir, venirの現在形, 文の種類, 国民・国名, 前置詞, 接続詞	
5	tenerの現在形, 基数詞(0~10), 時刻の表現, 基数詞(11~100)	
6	hablarの現在形, スペインの地方と言語, -ar動詞の現在形, 序数詞	
7	comerの現在形, deberの現在形, saber, conocerの現在形, 関係代名詞que	
8	vivirの現在形, 都市, 規則動詞の現在形まとめ, 文をつなぐque	
9	quererの現在形, 所有詞前置形, 所有詞後置形, 交通	
10	poderの現在形, 週の曜日, 目的語の代名詞	
11	salir, llegarの現在形, 基数詞(101~), 買い物, 市内の建物	
12	gustarの現在形, gustar型の動詞, 暦の月, decir, darの現在形	
13	levantarseの現在形, 再帰動詞の現在形, 再帰動詞(基本用法), -mente副詞	
注意: 上記のように教科書に沿って進める(授業は30回。それぞれの課を平均2, 3回の授業で進めることになる)。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for PrivateStudy
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

予習、復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加, 等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
El tesoro de Espana スペインの宝	福嶋教隆 / 同学社 / 978-4-8102-0381-3 /

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博, 他 / 小学館 / 4-09-515502-9 / 辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠, 他 / 三省堂 / 4-385-12201-6 / 辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平 / 白水社 / 4-560-00677-6 /
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子, 他 / 南雲堂フェニックス / 4-88896-251-0 /

上記の辞書(A)か(B)のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

スペイン語検定: <http://www.casa-esp.com/link-examen.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z1)

10632

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25%期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎 的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版 会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料 <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

第1回授業で指示します。

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z2)

12140

担当者名 / Instructor 佐藤 渉

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25%期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料 <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

第1回授業で指示します。

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z3)

13564

担当者名 / Instructor 木村 一紀

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25%期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎 的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版 会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料 <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

第1回授業で指示します。

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z4)

12808

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25%期末まとめテスト(第15回目)25%SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

第1回授業で指示します。

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z5)

12835

担当者名 / Instructor 佐藤 渉

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
 (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25%期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%
このクラスの成績評価はC・Fのみである。		

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎 的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版 会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料 <http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

第1回授業で指示します。

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

英語総合講義(単位回復)(Z6)

10659

担当者名 / Instructor 海寶 康臣

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつづじて、英語という言葉、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回目 前半: 授業の概要と導入 / 後半: SRA Starting Level Guide	
	第2回目 前半: 第1章 英語の学習 / 後半: SRA Power Builder Starter	
	第3回目 前半: 第2章 英語の音声 / 後半: SRAリーディング実習	
	第4回目 前半: 第2章 英語の音声(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第5回目 前半: 第3章 リーディング / 後半: SRAリーディング実習	
	第6回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第7回目 前半: 第3章 リーディング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第8回目 前半: 質疑応答(15分)と中間まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(45分)	
	第9回目 前半: 第4章 ライティング / 後半: SRAリーディング実習	
	第10回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第11回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第12回目 前半: 第4章 ライティング(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第13回目 前半: 第5章 発展 後半: SRAリーディング実習	
	第14回目 前半: 第5章 発展(続き) / 後半: SRAリーディング実習	
	第15回目 前半: 質疑応答(15分)と期末まとめテスト(30分) 後半: SRAリーディング実習(到達度確認)(45分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

教科書(指定された箇所)は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	中間まとめテスト(第8回目)25% 期末まとめテスト(第15回目)25% SRA(学習記録とテスト(第15回目)50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎 的英語学習情報	九州大学大学院言語文化研究院英語 I 共通教科書編集委員会編 / 九州大学出版 会 / 978-4-87378-939-2 / 全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH 大学生のための基礎的英語学習情報」資料
<http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html>

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

中間まとめテスト(第8回)、期末まとめテスト(第15回)には学生証を持参して下さい。

拡張項目

中国語・基礎 (2B)

10950

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、基本の語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合Ⅱ (3A)

10089

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 総合Ⅰ文法事項の復習	
	2 総合Ⅰ文法事項の復習	
	3 過去形	
	4 過去形	
	5 接続語尾<1>	
	6 接続語尾<1>、疑問詞	
	7 漢数詞	
	8 漢数詞を使った表現	
	9 固有数詞	
	10 固有数詞を使った表現	
	11 否定形	
	12 不可能の表現	
	13 好みの表現	
	14 願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現Ⅱ (2A)

12281

担当者名 / Instructor KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1-4 Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表わす前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
	5-8 Einkaufen(買い物)	どこで何をかうかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表わす冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
	9-12 Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
	13-15 Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表わす前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付きスタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-6C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現 I (3C)

10139

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei!(『CD付き スタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-5C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現 I (3B)

12353

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei!(『CD付き スタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-5C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現 I (3A)

10005

担当者名 / Instructor GRAEWE GUDRUN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei!(『CD付き スタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-5C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現 I (2A)

12213

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・挨拶と自己紹介ができるようになる
- ・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
- ・数字に習熟する
- ・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei!(『CD付き スタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-5C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現Ⅱ (3C)

12305

担当者名 / Instructor SONG EUN YOUNG

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 基礎の復習	
	第2回 基礎の復習	
	第3回 尊敬形	
	第4回 尊敬の否定形	
	第5回 現在連体形	
	第6回 未来連体形	
	第7回 未来連体形	
	第8回 過去連体形	
	第9回 連体形のおさらい	
	第10回 意志・未来時制	
	第11回 下称体	
	第12回 引用文	
	第13回 パンマル	
	第14回 状態変化と受身の表現	
	第15回 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングルコミュニケーションのためにー』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現Ⅱ (3B)

12303

担当者名 / Instructor 金 容賛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使え表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 基礎の復習	
	第2回 基礎の復習	
	第3回 尊敬形	
	第4回 尊敬の否定形	
	第5回 現在連体形	
	第6回 未来連体形	
	第7回 未来連体形	
	第8回 過去連体形	
	第9回 連体形のおさらい	
	第10回 意志・未来時制	
	第11回 下称体	
	第12回 引用文	
	第13回 パンマル	
	第14回 状態変化と受身の表現	
	第15回 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングラーコミュニケーションのためにー』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現Ⅱ (3A)

12426

担当者名 / Instructor 金 容賛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 基礎の復習	
	第2回 基礎の復習	
	第3回 尊敬形	
	第4回 尊敬の否定形	
	第5回 現在連体形	
	第6回 未来連体形	
	第7回 未来連体形	
	第8回 過去連体形	
	第9回 連体形のおさらい	
	第10回 意志・未来時制	
	第11回 下称体	
	第12回 引用文	
	第13回 パンマル	
	第14回 状態変化と受身の表現	
	第15回 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングラーコミュニケーションのためにー』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現Ⅱ (2A)

11000

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1回 基礎の復習	
	第2回 基礎の復習	
	第3回 尊敬形	
	第4回 尊敬の否定形	
	第5回 現在連体形	
	第6回 未来連体形	
	第7回 未来連体形	
	第8回 過去連体形	
	第9回 連体形のおさらい	
	第10回 意志・未来時制	
	第11回 下称体	
	第12回 引用文	
	第13回 パンマル	
	第14回 状態変化と受身の表現	
	第15回 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中級ハングラーコミュニケーションのためにー』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現 I (3B)

12232

担当者名 / Instructor 金 容賛

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 指定詞、指示詞	
	6 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	7 丁寧形(ヘヨ体)	
	8 丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
	9 過去形	
	10 接続語尾<1>、疑問詞	
	11 漢数詞、漢数詞を使った表現	
	12 固有数詞、時刻の表現	
	13 否定形、不可能の表現	
	14 好みの表現、願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・表現 I (2A)

10879

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 指定詞、指示詞	
	6 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	7 丁寧形(ヘヨ体)	
	8 丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
	9 過去形	
	10 接続語尾<1>、疑問詞	
	11 漢数詞、漢数詞を使った表現	
	12 固有数詞、時刻の表現	
	13 否定形、不可能の表現	
	14 好みの表現、願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・展開 (2A)

10118

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎で学んだ文法知識をよりいっそう確実なものにするとともに、朝鮮語の会話の基本として重要な尊敬形や連体形など、新しい文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

学習した文法知識を用いてある程度まとまった文章を書き、朝鮮語で書かれた簡単な文章が読めるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 基礎の復習	
	2 基礎の復習	
	3 尊敬形	
	4 尊敬の否定形	
	5 現在連体形	
	6 未来連体形	
	7 未来連体形	
	8 連体形のおさらい	
	9 連体形のおさらい	
	10 意志・未来時制	
	11 下称体	
	12 引用文	
	13 バンマル	
	14 状態変化と受身の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む)/ How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・展開 (2A)

10843

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
	2 テキストの第1課を学習する。	
	3 テキストの第2を学習する。	
	4 テキストの第3課を学習する。	
	5 テキストの第4課を学習する。	
	6 テキストの第5課を学習する。	
	7 テキストの第6課を学習する。	
	8 中間まとめ、中間小テスト。	
	9 テキストの第7課を学習する。	
	10 テキストの第8課を学習する。	
	11 テキストの第9課を学習する。	
	12 テキストの第10課を学習する。	
	13 テキストの第11課を学習する。	
	14 テキストの第12課を学習する。	
	15 全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合Ⅱ (3B)

10220

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総合Ⅰ文法事項の復習	
2	総合Ⅰ文法事項の復習	
3	過去形	
4	過去形	
5	接続語尾<1>	
6	接続語尾<1>、疑問詞	
7	漢数詞	
8	漢数詞を使った表現	
9	固有数詞	
10	固有数詞を使った表現	
11	否定形	
12	不可能の表現	
13	好みの表現	
14	願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・展開 (2B)

11055

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひとつおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
	2 テキストの第1課を学習する。	
	3 テキストの第2を学習する。	
	4 テキストの第3課を学習する。	
	5 テキストの第4課を学習する。	
	6 テキストの第5課を学習する。	
	7 テキストの第6課を学習する。	
	8 中間まとめ、中間小テスト。	
	9 テキストの第7課を学習する。	
	10 テキストの第8課を学習する。	
	11 テキストの第9課を学習する。	
	12 テキストの第10課を学習する。	
	13 テキストの第11課を学習する。	
	14 テキストの第12課を学習する。	
	15 全体のまとめと学習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	60 %	ピンイン、声調、語彙・文型・文法の習得度を検証する。 (産業社会学部の統一試験)
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	40 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組み。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合 I (3C)

10153

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 小テスト、文字と発音のおさらい	
	6 指定詞、指示詞	
	7 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	8 総合復習	
	9 丁寧形(ヘヨ体)	
	10 丁寧形(ヘヨ体)	
	11 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	12 用言の変則活用(1)	
	13 用言の変則活用(1)	
	14 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合 I (3B)

10143

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 小テスト、文字と発音のおさらい	
	6 指定詞、指示詞	
	7 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	8 総合復習	
	9 丁寧形(ヘヨ体)	
	10 丁寧形(ヘヨ体)	
	11 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	12 用言の変則活用(1)	
	13 用言の変則活用(1)	
	14 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合 I (3A)

10007

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 小テスト、文字と発音のおさらい	
	6 指定詞、指示詞	
	7 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	8 総合復習	
	9 丁寧形(ヘヨ体)	
	10 丁寧形(ヘヨ体)	
	11 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	12 用言の変則活用(1)	
	13 用言の変則活用(1)	
	14 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む)/ How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・基礎 (2A)

10049

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から始め、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずですが。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 指定詞、指示詞	
	6 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	7 丁寧形(ヘヨ体)	
	8 丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用<1>	
	9 過去形	
	10 接続語尾<1>、疑問詞	
	11 漢数詞、漢数詞を使った表現	
	12 固有数詞、時刻の表現	
	13 否定形、不可能の表現	
	14 好みの表現、願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・応用Ⅱ (2A)

11622

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

応用Ⅱでは、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 基礎の復習	
	2 基礎の復習	
	3 過去形	
	4 過去形	
	5 接続語尾<1>	
	6 接続語尾<1>、疑問詞	
	7 漢数詞	
	8 漢数詞を使った表現	
	9 固有数詞	
	10 固有数詞を使った表現	
	11 否定形	
	12 不可能の表現	
	13 好みの表現	
	14 願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・応用 I (2A)

11517

担当者名 / Instructor 金 恵玉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用1では、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 文字と発音 I	
	2 文字と発音 II	
	3 文字と発音 III	
	4 発音の変化	
	5 小テスト、文字と発音のおさらい	
	6 指定詞、指示詞	
	7 丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
	8 総合復習	
	9 丁寧形(ヘヨ体)	
	10 丁寧形(ヘヨ体)	
	11 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	12 用言の変則活用(1)	
	13 用言の変則活用(1)	
	14 小テスト、ヘヨ体のおさらい	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (2C)

10223

担当者名 / Instructor 陳 朝朝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (2B)

10218

担当者名 / Instructor 郭 富光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現Ⅱ (2A)

10085

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベルⅡ

立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (2C)

10138

担当者名 / Instructor 陳 朝朝

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディプログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

中国語・表現 I (2B)

10136

担当者名 / Instructor 郭 富光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、小テスト、宿題などの日常的な取り組みは40%、確認テストは60%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title

出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment

コミュニカティブ中国語 レベル I

立命館大学中国語部会編 / 郁文堂出版社 / /

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

学生との直接対話 / Talk with Students

その他 / Other

拡張項目

ドイツ語・表現Ⅱ (3A)

10083

担当者名 / Instructor GRAEWE GUDRUN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

- ・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
- ・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
- ・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1-4 Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表わす前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
	5-8 Einkaufen(買い物)	どこで何をかうかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表わす冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
	9-12 Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
	13-15 Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表わす前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にはなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付きスタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-6C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター (Goethe-Institut)
 ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会 (DAAD)
 文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
 ドイツの若者について www.young-germany.jp
 ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目

朝鮮語・総合Ⅱ (3C)

10235

担当者名 / Instructor 金 仁 姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずで

受講生の到達目標 / Student Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

事前に履修しておくことが望まれる科目 / Recommended Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	1 総合Ⅰ文法事項の復習	
	2 総合Ⅰ文法事項の復習	
	3 過去形	
	4 過去形	
	5 接続語尾<1>	
	6 接続語尾<1>、疑問詞	
	7 漢数詞	
	8 漢数詞を使った表現	
	9 固有数詞	
	10 固有数詞を使った表現	
	11 否定形	
	12 不可能の表現	
	13 好みの表現	
	14 願望の表現	
	15 総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Class Format

成績評価方法 / Grade Evaluation Method

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
上記以外の試験・レポート、 平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages for Reference

授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法(教員との連絡方法含む) / How to Communicate with the Instructor In and Out of Class(Including Instructor Contact Information)

その他 / Other

拡張項目